

第2章 受講者に対する調査

第2章 受講者に対する調査

第1節 調査結果のまとめ

1-1 能力開発セミナーの受講状況

全体でみると、1コース受講している者の割合が6~7割、2~3コース受講が2~3割となっている。なお平成13年度に比べて平成14年度は、やや受講コース数が増加している。

分野別にみると、情報・通信分野では1コース受講している者の割合が6~7割をしめる一方で2~3コース受講した者も2~3割おり、また平成14年度の方が平成13年度よりも多くのコースを受講している。その他4分野では1コース受講している者の割合が平成13、14年度ともに約8割と高い。

また他の分野との重複受講状況をみてみると、1コース以上機械・制御分野を受講している者は機械・制御分野のコースは2回(以上)受講するケースもあるものの、他の分野のコースはほとんど受講していない。情報・通信分野、建築・居住分野の場合も同様である。これに対し、電気・電子分野の受講者の場合は機械・制御分野も受講するケースが、管理・事務分野の受講生の場合は情報・通信分野を受講するケースが、相対的にはやや多くなっている。

以上のことから、情報・通信分野では技術の進歩が早くそれに対応するために多くのコースを受講する人が多く、また電気・電子分野では機械・制御分野と関連する複合的な内容を期待していると判断できる。

1-2 能力開発セミナーを選んだ理由

「能力開発セミナー」を受講先として選んだ理由としては、「受講料が安い」と「上司・会社・知人などに勧められた」を約半数の人があげている(それぞれ47.5%、43.3%)。次いで、「テーマ・内容がニーズに合っている」が28.7%、「各コースの日程や時間・期間が適切である」が27.9%、「演習・実習がある」が24.3%、「立地条件がよい」が23.8%と続いている。

分野別にみると、機械・制御分野では「上司・会社・知人などに勧められた」が、電気・電子分野では「上司・会社・知人などに勧められた」と「演習・実習がある」が、建築・居住分野では「受講料が安い」が、情報・通信分野では「受講料が安い」と「上司・会社・知人などに勧められた」が、管理・事務分野では「受講料が安い」「上司・会社・知人などに勧められた」「テーマ・内容がニーズに合っている」が、それぞれ高くなっている。また職系別にみると、「受講料が安い」において「事務系」は理由としてあげる割合が多く(64.8%)、「技能系」は少なく(29.6%)となっている。

「上司・会社・知人などに勧められた」と回答する割合が高くなっており、能力開発セミナーに対する評価は高いと言える。また、「受講料が安い」という評価は情報・通

信分野、建築・居住分野及び管理・事務分野で特に高くなっているが、これは民間の研修機関で行っている各種能力開発セミナーと比較している結果だと予想される。民間の研修機関で同様の能力開発セミナーがあまり実施されていない機械・制御分野及び電気・電子分野では「受講料が安い」という評価が他の分野より低くなっていることから、受講料についてはあくまでも他の研修機関と比較した場合の相対的な判断だと思われる。

1-3 能力開発セミナーの受講の目的

能力開発セミナーを受講した目的としては、「現在の業務遂行能力の向上」が突出して多く全体の78.2%となっており、次に続く目的の倍近くになっている。次いで、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が34.1%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力の向上」が31.7%と続く。

分野別にみると、電気・電子分野で「資格取得」が、情報・通信分野と管理・事務分野で「業務改善の推進」が、他の分野と比較して高くなっている。年齢別にみると、「業務改善の推進」は年齢が上がるほど高くなっている。また、地域別にみると、「北海道・東北」「中国・四国」「九州・沖縄」では資格取得を目的とする場合が多く、「関東」「中部」「関西」では少ない。

受講の目的の多くは現在の職場での問題点等を解決するための能力の向上となっているが、業種によっては資格を取得していなければ業務が行えないこともあることから、受講した成果の一つとして「資格取得」を目指している場合もある。しかし、能力開発セミナーは「資格取得」が目的ではないため、資格取得のための内容になっている訳ではなく、受講者本人が能力開発セミナー受講の副産物として「資格取得」を目指していると判断される。

1-4 能力開発セミナーの成果の活用

(1) 能力開発セミナーの受講者に課す義務

能力開発セミナーの受講者が課されている義務としては、「部門長・所属長への受講レポートの提出」が最も多く全体の35.5%の回答者があげている。「部門長・所属長への口頭での報告」も19.6%と比較的多くあがっている。一方で、課されている義務は「特になし」との回答も24.0%ある。

(2) 能力開発セミナーで学んできた技術・知識の事業所内での伝達

伝達される技術・知識のレベルごとにみると、「セミナーで学んできたものとは同じレベルの技術・知識を新しく得る人」は平均3.2人、「セミナーで学んできたものの概要・大枠を新しく理解する人」は平均4.3人、「セミナーで学んできたものの名称や、それがどういうものか程度のごく簡単なことを新しく理解する人」の平均は6.9人、「セ

「セミナーでその技術・知識を学んできたということを知っている人」は平均13.7人となっている。

年齢別にみると、「同じレベル」「概要・大枠」「簡単なこと」では年齢が上になるにつれて伝達人数は大きくなる傾向にある。一方、「受講事実」は年齢が若い方が伝達人数は大きい。従業員数別にみると、「300～999人」までは従業員数規模が大きくなるほどどのレベルでも伝達人数は大きくなるが、「1000人以上」はむしろ「300～999人」よりもどのレベルでも伝達人数が少なくなる。

このことから、能力開発セミナーを受講することによって受講者自身のみならず職場でも普及効果があると言える。

1-5 能力開発セミナー受講によって受講者が受けたメリットの推定

能力開発セミナー以外の方法で同等の知識・技能を得るために要する費用についてたずねた結果、平均4.9倍の費用がかかるとされた。

1-6 受講した能力開発セミナーの評価

(1) 能力開発セミナーの受講によって向上を期待した技術・知識

能力開発セミナーの受講によって向上を期待した技術・知識としては、「基本的な技術・知識の習得」をあげた者が全体の86.2%にのぼっている。次に、「業務遂行の実践的な能力向上」が61.3%、「専門的な技術・知識の習得」が50.7%といずれも半数以上の者があげている。反対に、「創造的な技術・知識の習得」「高度な技術・知識の習得」「先端的な技術・知識の習得」などは少なくなっている。

分野別にみると、どの分野とも上記の3つが上位3つになっている。電気・電子分野では「専門的な技術・知識の習得」、管理・事務分野では「業務遂行の実践的な能力向上」「問題解決能力の向上」をあげる者の割合が比較的高くなっている。

職系別にみると、他の職系に比べて事務系は「業務遂行の実践的な能力向上」を期待する割合が多くなっている。

(2) 期待していた内容とセミナーで提供された内容の合致度合い

期待していた内容とセミナーで提供された内容の合致度合いについては、「基本的な技術・知識の習得」に関しては、期待とある程度合致していた割合が高い（「ある程度合っていた」・「ぴったり合っていた」の合計が87.2%）。次いで合致していた割合が高いのは、「業務遂行の実践的な能力向上」の68.8%、「専門的な技術・知識の習得」の67.7%、「体系的な技術・知識の習得」の66.7%である。即ち、受講による向上の期待が高かった項目については、軒並み高い評価を得ている。

期待と合致していなかった割合が最も高いのは「高度な技術・知識の習得」で17.5%の

者が「全く合っていなかった」あるいは「あまり合っていなかった」と回答している。次いで、「創造的な技術・知識の習得」、「問題解決能力の向上」があがる。

(3) 期待していた内容の習得の程度

向上を期待していた技術・知識の受講による習得の程度については、「基本的な技術・知識の習得」は習得できた割合が高い（「ある程度習得できた」・「十分習得できた」の合計が81.8%）。次いで習得できた割合が高いのは、「業務遂行の実践的な能力向上」の64.4%、「体系的な技術・知識の習得」の60.2%、「専門的な技術・知識の習得」の58.0%である。

習得できなかった割合が最も高いのは「高度な技術・知識の習得」で20.9%の者が「全く習得できなかった」あるいは「あまり習得できなかった」と回答している。次いで、「創造的な技術・知識の習得」、「先端的な技術・知識の習得」があがる。

(4) 能力開発セミナーを受講した感想

能力開発セミナーを受講した感想としては、全体の76.3%が「質問にきちんと対応してくれる」という感想を持っており、「演習・実習がある」「安心・信頼できる」という感想を持っている者の割合も高い（それぞれ、71.3%、70.5%、いずれも「ほぼそう思う」と「全くそう思う」の合計）。

一方、立地条件に関しては、21.2%の人がよくないと考えており、コースの日程や時間・期間については10.0%の人が、最新の技術・知識を得られるかについては9.3%の人が否定的な回答をしている（「全くそう思わない」「あまりそう思わない」の合計）。分野別にみると、次のような項目で評価が高い。

- ・機械・制御分野及び電気・電子分野：「演習・実習がある」「質問にきちんと対応してくれる」「安心・信頼できる」
- ・建築・居住分野：「質問にきちんと対応してくれる」「受講料が安い」「安心・信頼できる」
- ・情報・通信分野：「質問にきちんと対応してくれる」「受講料が安い」「機器などの設備が揃っている」
- ・管理・事務分野：「質問にきちんと対応してくれる」

(5) 能力開発セミナーで今後改善していくべき点

改善していくべき点として最も多くあがっているのは、「よりわかりやすい内容に」（30.1%）である。次いで、「より高度で実践的な内容に」が28.3%、「実技の拡充」が23.3%、「夜間に開催する」が19.1%、「より基礎的な内容に」が19.0%となっている。

分野別にみても、機械・制御分野では、「より高度で実践的な内容に」「実技の

拡充」「よりわかりやすい内容に」の順に多い。電気・電子分野では「よりわかりやすい内容に」が最も多く、次いで「実技の拡充」「より高度で実践的な内容に」の順である。一方、建築・居住分野と情報・通信分野になると、「実技の拡充」の代わりに「夜間に開催する」が入り、「よりわかりやすい内容に」「より高度で実践的な内容に」「夜間に開催する」の順となる。管理・事務分野では「より高度で実践的な内容に」「よりわかりやすい内容に」が多い。

年齢別にみると、年齢があがるにつれ「夜間に開催する」を指摘する割合は大きくなる。

(6) 講師の教え方

講師の教え方については、75.7%の人が「全体としてよかった」と評価している。「質問にきちんと答えてくれた」(73.8%)、「講義のポイント、重要な点を示してくれた」(71.1%)も評価する割合が高くなっている(いずれも「ほぼそう思う」「全くそう思う」の合計)。一方、比較的評価が低かった項目としては、「今後学習を進めるためのやり方を教えてくれた」(18.6%)、「わからないところはわかるまで教えてくれた」(12.6%)、「難しいところは丁寧に教えてくれた」(8.2%)があげられる(いずれも「全くそう思わない」「あまりそう思わない」の合計)。

受講者側は授業の内容だけではなく、「今後どのような内容をどのような順番で学習していけばよいのか」といった情報提供を求めていると言える。今後より一層の体系的な能力開発セミナーに関する情報提供が必要だと思われる。

1-7 能力開発セミナーの効果

(1) 能力開発セミナーの受講目的

能力開発セミナーを受講した目的としては、「現在の業務遂行能力の向上」が全体の72.5%と突出している。次に「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が49.2%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が42.6%あがっている。分野別にみても、情報・通信分野で「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が他の分野と比べて高くなっている。

(2) 受講目的とした項目の受講による能力の向上の程度

(1)で受講目的にあげた項目のうち受講により向上した能力としては、「現在の業務遂行能力」をあげる人が最も多い(74.3%)。ついで、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が65.6%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が63.5%となっている(いずれも「ある程度向上した」と「とても向上した」の合計)。

能力開発セミナーの受講によりあまり向上しなかった能力としては、「特定の受注業

「業務への対応力」が第一にあがる(12.6%)。次に「新商品や新規事業の開発力」が11.1%、「業務改善企画力」が10.2%と多くなっている。

(3) 受講目的とした項目の実際の仕事への活用

(1) で受講目的にあげた項目のうち実際の仕事に活用できた能力としては、「現在の業務遂行能力」が69.3%で最も高い。次いで、「機械・設備の変更や進歩への特定の技術能力」が55.3%、「特定の受注業務への対応力」が47.2%、「業務改善企画力」が46.9%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が46.1%となっている。

実際の仕事に活用できなかった能力としては、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が最も多く(33.7%)あがっており、次いで「新商品や新規事業の開発力」が28.1%、「業務改善企画力」が26.8%あがっている。なお活用できなかった理由としては、全体の44.0%の人が「学んだことを生かせるような仕事に出会わなかったから」をあげている。次いで、「内容が実務で活用するような内容にはなっていなかった」が30.3%、「能力開発セミナーの内容が十分身に付かなかったから」が21.4%となっている。

分野別にみると、機械・制御分野では「内容が実務で活用するような内容にはなっていなかった」、電気・電子分野では「学んだことを生かせるような仕事に出会わなかった」、管理・事務分野では「能力開発セミナーの内容が十分身に付かなかったから」をあげる者の割合が、それぞれ他の分野と比較して高くなっている。

多様な業種・事業所から能力開発セミナーを受講している現在、求められる内容も多種多様であり、それらに十分に応えることは難しいといえる。しかし、「内容が実務で活用するような内容になっていなかった」という理由は、事前に目的、内容、対象者や前提条件等の情報を的確に示すことにより減少させることができると思われる。今後は受講者側が的確に判断できるような情報提供を行う必要がある。

(4) 受講による事業所の経営面への効果

能力開発セミナー受講による経営面への効果については、「人材の活性化」(29.2%)が一番目に、「組織全体の業務遂行能力の向上」(28.6%)が二番目にあがり、この二項目が目立って多くなっている。次いで、「新技術の導入力の向上」(16.1%)、「経営・業務のIT化」(14.4%)があがっている。一方、「特になし」という回答も23.4%みられる。

分野別にみると、機械・制御分野と電気・電子分野では「人材の活性化」が、建築・居住分野と管理・事務分野では「組織全体の業務遂行能力の向上」が、情報・通信分野では「組織全体の業務遂行能力の向上」と「経営・業務のIT化」が、それぞれ多くあがっている。また、機械・制御分野では「コスト削減・生産ラインの合理化」をあげる者が、管理・事務分野では「経営・業務のマネジメント力の向上」をあげる者が、それぞ

れ他の分野と比較して多い。年齢別にみると、「組織全体の業務遂行能力の向上」「経営・業務のIT化」「経営環境変化への組織適応力の向上」「経営・業務のマネジメント力の向上」などで、年齢があがるほど「効果があった」とする割合が増えている。

1-8 今後の教育ニーズ

(1) 今後身に付けていく必要があると考える知識・能力

今後身に付けていく必要性がある知識・能力としては、「一般的な基礎知識・技能」をあげる人が最も多い(60.1%)。次いで、「担当業務の実務能力」が54.0%、「担当業務への精通と応用能力」が48.5%となっている。

(2) 能力開発セミナーでの提供が期待される知識・能力

能力開発セミナーで習得の機会が提供されることを期待する割合が大きいものとしては、「一般的な基礎知識・技能」が最も多く(75.2%)、次いで「担当業務への精通と応用能力」(69.0%)、「担当業務の実務能力」(68.8%)の順である。

(3) 担当職務に関連して今後習得しようと考えている技術・技能

担当職務に関連して今後習得しようと考えている技術・技能としては、分野別に次のものが上位にあげられた。

- ・機械・制御分野：「CAD/CAM/CAE」「機械設計・製図」「機械保全」
- ・電気・電子分野：「電力・電気設備」「シーケンス制御」「CAD/CAM/CAE」
- ・建築・居住分野：「建築設計・製図・CAD」「CAD/CAM/CAE」「パソコンOS」
- ・情報・通信分野：「データベース」「インターネット・イントラネット」「パソコンOS」
- ・管理・事務分野：「経営」「総務・労務」「経理」

1-9 今後の能力開発セミナーの利用意向

(1) 今後の能力開発セミナーの利用

今後能力開発セミナーを利用したいかどうかについては、全体の68.8%の人が「コース、日程、費用などの条件が合えば利用を考えたい」と回答している。また、25.5%の人が「積極的に利用したい」と回答している。

(2) 他の団体主催セミナーと比べた能力開発セミナーへの期待

他のセミナーと比較して能力開発セミナーに期待する項目としては、「受講料が安い」ことをあげる人が全体の62.5%と最も多い。次いで、「技能が着実に身に付く」ことが

54.9%、「演習・実習がある」ことが46.8%、「ある技術の基礎・基盤部分に関する内容が学べること」が44.6%あがっている。

分野別にみると、建築・居住分野、情報・通信分野、管理・事務分野では「受講料が安い」が2番目以降を引き離して最も高くなっているが、機械・制御分野と電気・電子分野では「技能が確実に身に付く」の方が最も高く、次いで「演習・実習がある」となっており、「受講料が安い」は3番目となっている。職系別にみると、技能系で「技能が身に付く」、事務系で「受講料が安い」の割合が他の職系に比べて高くなっている。

機械・制御分野や電気・電子分野などの技能系では「技能が身に付く」ことを第一に期待しており、まずは確実に受講目的（技能・技術の習得）を達成できることが重要視されていると言える。一方、技能・技術よりは「知識」に重点がおかれる管理・事務系や情報・通信系では技術の進歩にあわせて習得しなければならない内容が多く、多数の研修等を受講する必要があるために受講料の安さを重要視していると考えられる。

能力開発セミナーの受講を希望する場合、従業員自らで上司や事業所に希望を出すことが多く、その際に受講料が安いことで比較的容易に希望が出しやすくなっており、能力開発セミナー受講による個人の能力向上には「受講料の安さ」は大きなアドバンテージになっていると言える。

第2節 調査結果の詳細

2-1 配布数及び回収数

受講者に対する調査の配布数・回収数・回収率は次のとおり。

- ・配布数 10,211票 うち 有効配布数 9,931票
- ・回収数 2,371票 うち 有効回収数 2,363票
- ・有効回収率 23.8%

なお、地域・分野別の配布数・回収数・回収率は以下の通りである。

表2-1 地域・分野別データ一覧

	機械・制御	電気・電子	建築・居住	情報・通信	管理・事務	合計
北海道・東北	334	293	303	439	257	1626
	71	65	64	116	60	376
	21.3	22.2	21.1	26.4	23.3	23.1
関東	370	379	282	428	439	1898
	88	73	41	99	93	394
	23.8	19.3	14.5	23.1	21.2	20.8
中部	447	364	295	474	271	1851
	111	91	78	145	79	504
	24.8	25.0	26.4	30.6	29.2	27.2
関西	398	362	271	422	335	1788
	78	63	42	108	81	372
	19.6	17.4	15.5	25.6	24.2	20.8
中国・四国	346	341	260	361	260	1568
	74	68	53	113	44	352
	21.4	19.9	20.4	31.3	16.9	22.4
九州・沖縄	332	332	296	341	179	1480
	46	49	54	92	34	275
	13.9	14.8	18.2	27.0	19.0	18.6
不明	0	0	0	0	0	0
	13	33	13	20	11	90
	-	-	-	-	-	-
合計	2227	2071	1707	2465	1741	10211
	481	442	345	693	402	2363
	21.6	21.3	20.2	28.1	23.1	23.1

*各地域ごとに、上段：配布数、中段：回収数、下段：回収率。 *無効票も含む。

(注) これらの回答者構成割合は、各層共に分析に耐え得るだけの回収数を得ることを意図して標本設計した結果であり、必ずしも能力開発セミナーの実際の受講者構成割合を示したものではないことに留意。

2-2 回答者の概要

(1) 回答者の分野

「情報・通信分野」が全体の29.3%を占め、最も多くなっている。次いで、「機械・制御分野」(20.4%)、「電気・電子分野」(18.7%)と続く。

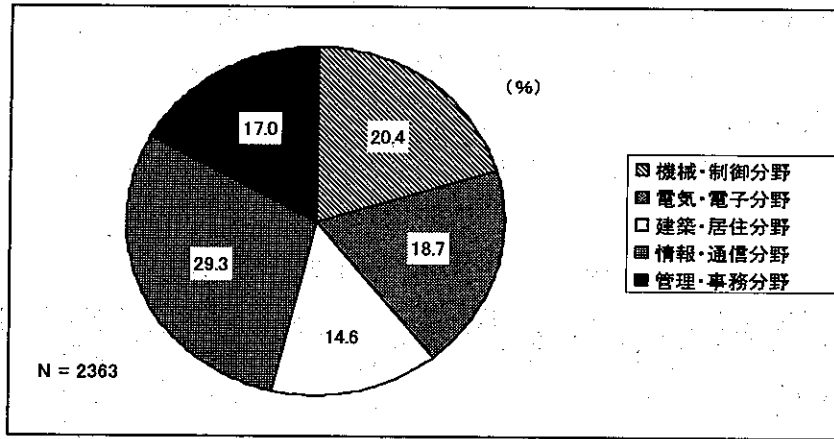


図2-1 回答者の分野

(2) 回答者の年代

「30歳代」が最も多く全体の31.5%を占めている。次いで、「20歳代」が26.2%、「40歳代」が22.9%、「50歳代」が13.8%、「60歳代」が2.2%、「70歳代以上」が0.2%、「不明」が2.3%と続く。

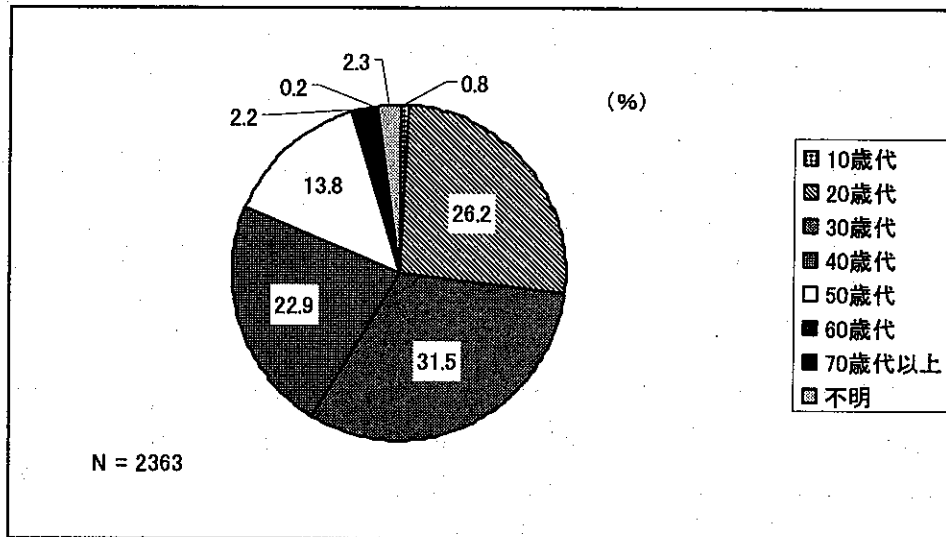


図2-2 回答者の年代

(3) 回答者の職系

回答者の半分近くが「技術系」(45.5%)で最も多く、「事務系」(20.2%)、「技能系」(14.9%)、「管理系」(13.3%)と続く。

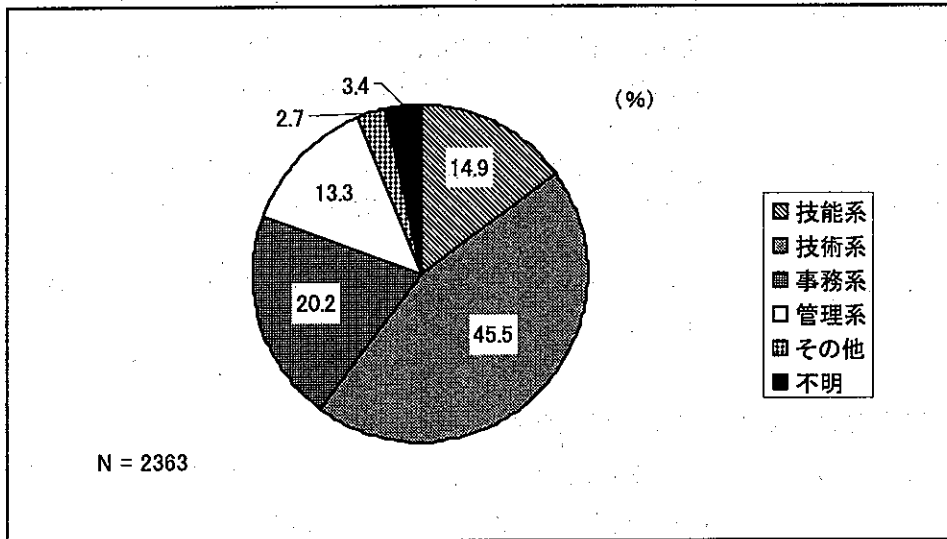


図2-3 回答者の職系

受講分野別にみると、技能系は機械・制御分野が34.2%、事務系は情報・通信分野が50.1%、管理系は管理・事務分野が(36.5%)となっている。

年代別にみると、技能系は20歳代・30歳代(30.8%、31.9%)、技術系も20歳代・30歳代(31.4%、34.1%)が多いのに対して、事務系は30歳代(33.8%)、管理系は40歳代(30.2%)の回答者が多い。

(4) 回答者の居住地域

「中部」が最も多く(21.3%)、次いで「関東」が16.7%、「北海道・東北」が15.9%、「関西」が15.7%と続く。

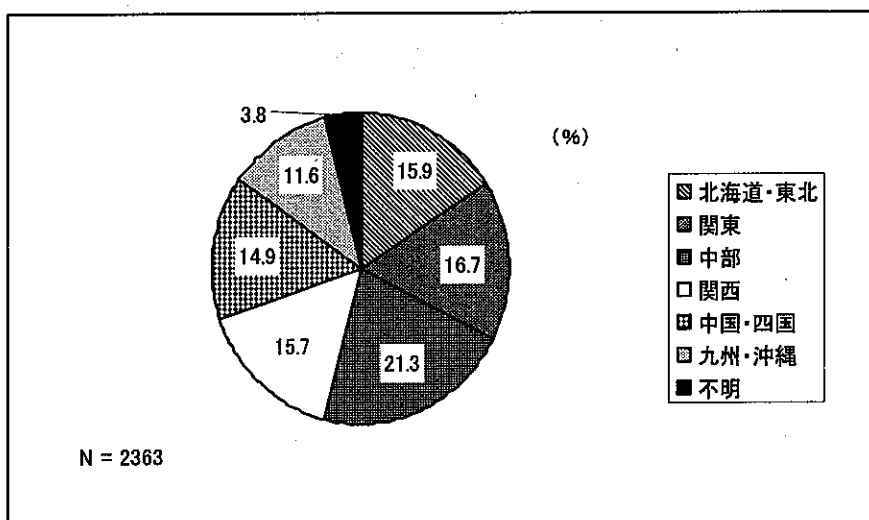


図2-4 回答者の居住地域

- 北海道・東北 : 北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
 関東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
 中部 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・
 静岡県・愛知県・三重県
 関西 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
 中国・四国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・
 愛媛県・高知県
 九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・
 沖縄県

(5) 回答者の勤務する事業所の従業員数

回答者の勤務先の規模は、「29人以下」が最も多く28.4%となっている。次いで、「100～299人」が21.7%、「300～999人」が15.9%、「50～99人以上」が12.3%と続く。

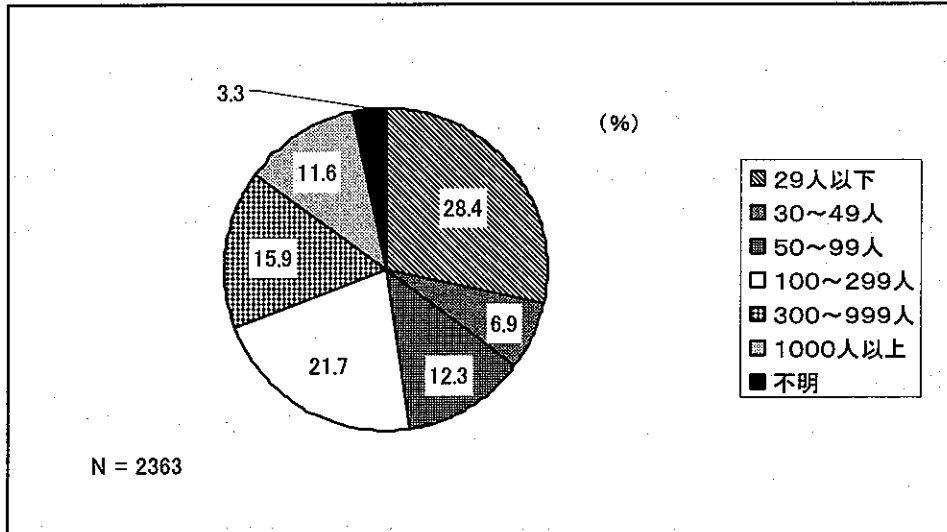


図 2-5 回答者の勤務する事業所の従業員数

(6) 回答者が勤務する会社の業種

「金属製品製造業」「総合工事業」が共に7.2%と最も多く、「電気機械器具製造業」(7.1%)、「情報サービス業」(6.3%)、「設備工事業」(5.5%)と続く。

なお、大分類でみると、製造業が49.3%、建設業が15.2%となっている。

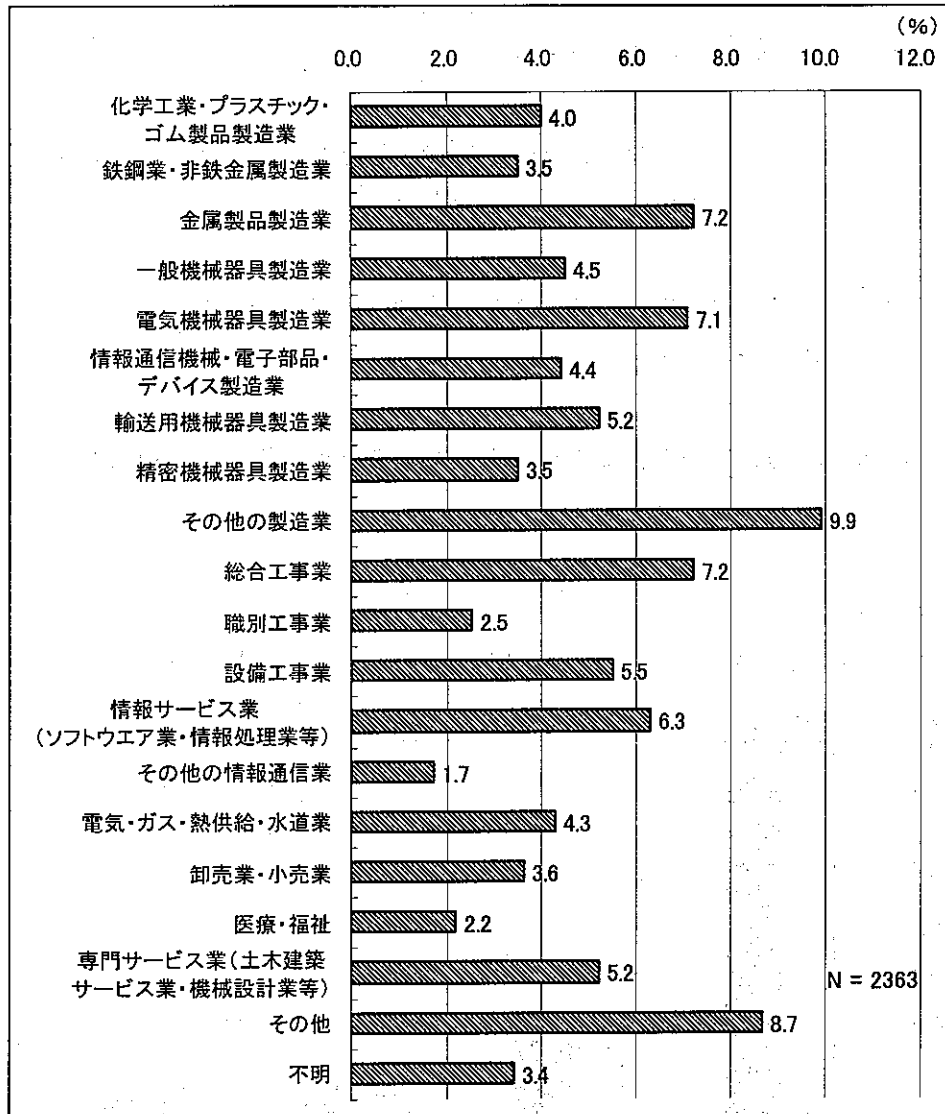


図2-6 回答者の会社の業種

化学工業・プラスチック・ゴム製品製造業は化学工業とプラスチック・ゴム製品製造業の合計、情報通信機械・電子部品・デバイス製造業は情報通信機械器具製造業と電子部品・デバイス製造業の合計、その他の製造業は繊維工業・繊維製品製造業と木製品・家具製造業と印刷・同関連業とその他の製造業の合計、その他の情報通信業は通信業とインターネット付随サービス業とその他の情報通信業の合計、その他は運輸業と金融・保険業と不動産業と飲食店、宿泊業と経済団体と国家公務・地方公務、郵便局とその他の合計。

以下では、それぞれの設問ごとにまず回答全体の傾向について述べ、ついで調査票で識別された受講分野別の特徴について考察し、さらに年齢、職系、居住地域、所属事業所の従業員数との各クロス集計の結果の中で特に顕著な傾向（概ね他の区分との差が10ポイント以上）を示した場合についてはその傾向についても述べることにした。

2-3 受講した能力開発セミナーの種類

問1-1. あなたが受講した能力開発セミナーについて、分野別にのべ何コース受講したかを、

①平成13年度 ②平成14年度 ごとにお書きください。

各年度においてそれぞれのコースごとに、回答者がその分野のコースを受講した数の分布をみると、次のようになる。

(例) 機械・制御分野の調査票を配布された回答者が、機械・制御分野の能力開発セミナーを受講した数

機械・制御分野

平成13、14年度ともに、1コース受講している者が、約8割と突出して高い。

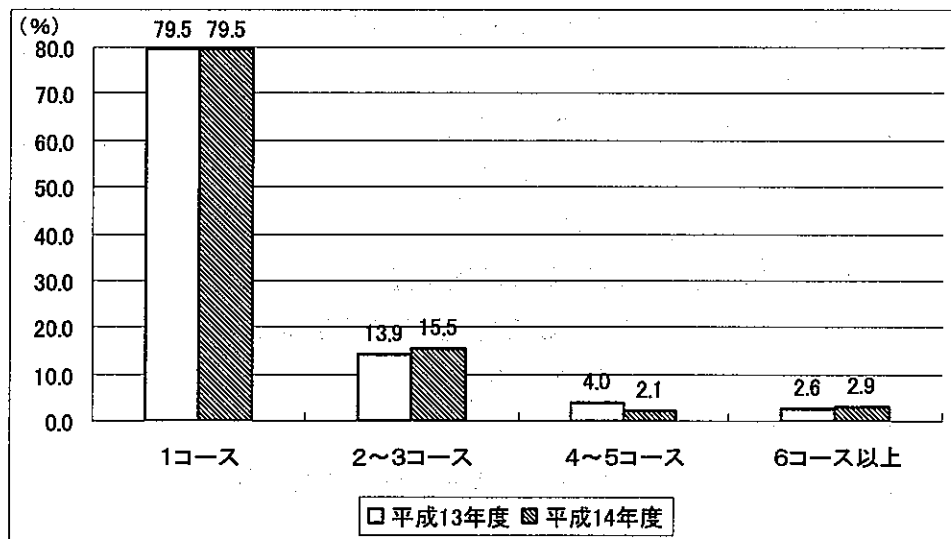


図2-7 機械・制御分野での受講コース数

* 調査分野が機械・制御分野であるアンケート票についての回答 * 不明は除く。

電気・電子分野

平成13、14年度ともに、1コース受講している者が、約8割と突出して高い。

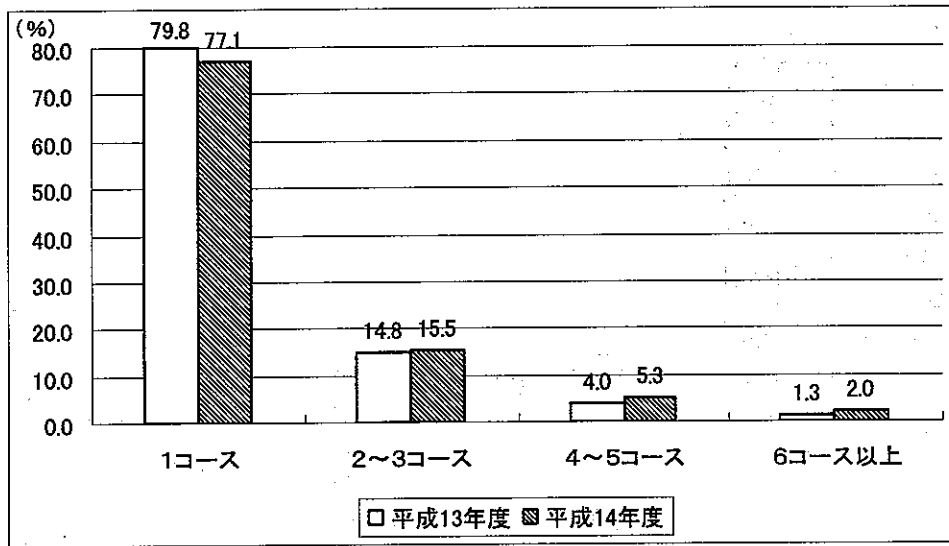


図2-8 電気・電子分野での受講コース数

* 調査分野が電気・電子分野であるアンケート票についての回答 * 不明は除く。

情報・通信分野

1コース受講している者の割合が6~7割と高いが、2~3コース受講した者も2~3割いる。平成14年度の方が、平成13年度よりも多くのコースを受講している。

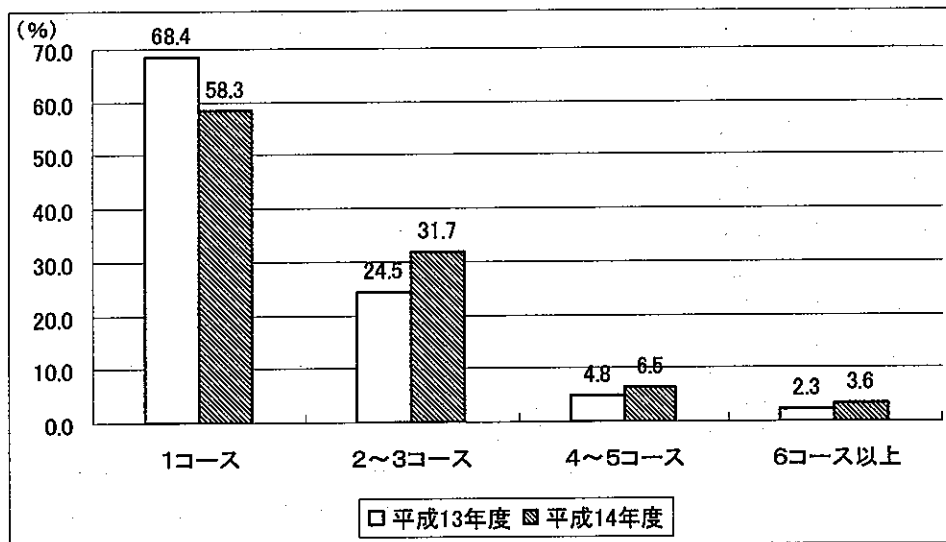


図2-9 情報・通信分野での受講コース数

* 調査分野が情報・通信分野であるアンケート票についての回答 * 不明は除く。

建築・居住分野

平成13、14年度ともに、1コース受講している者が、約8～9割と突出して高い。

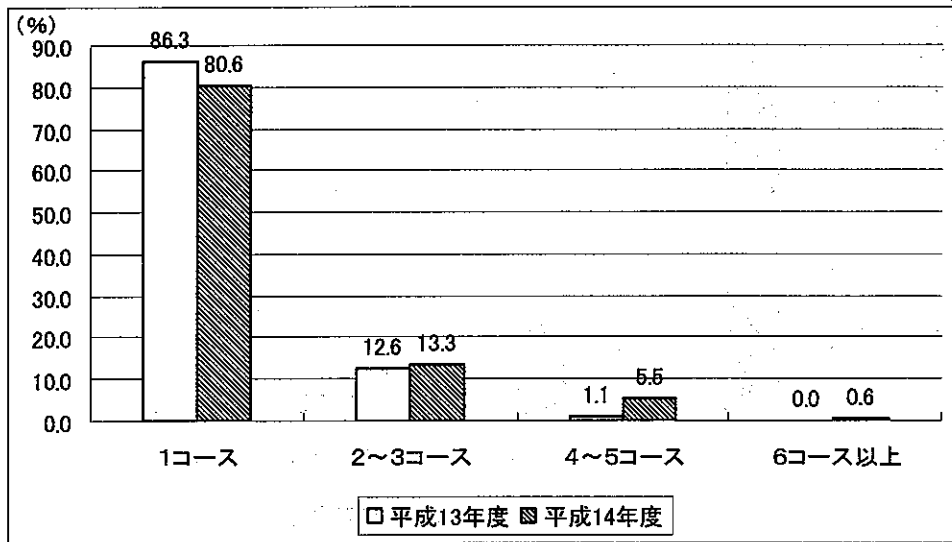


図2-10 建築・居住分野での受講コース数

* 調査分野が建築・居住分野であるアンケート票についての回答 * 不明は除く。

管理・事務分野

平成13、14年度ともに、1コース受講している者が、約8割と突出して高い。

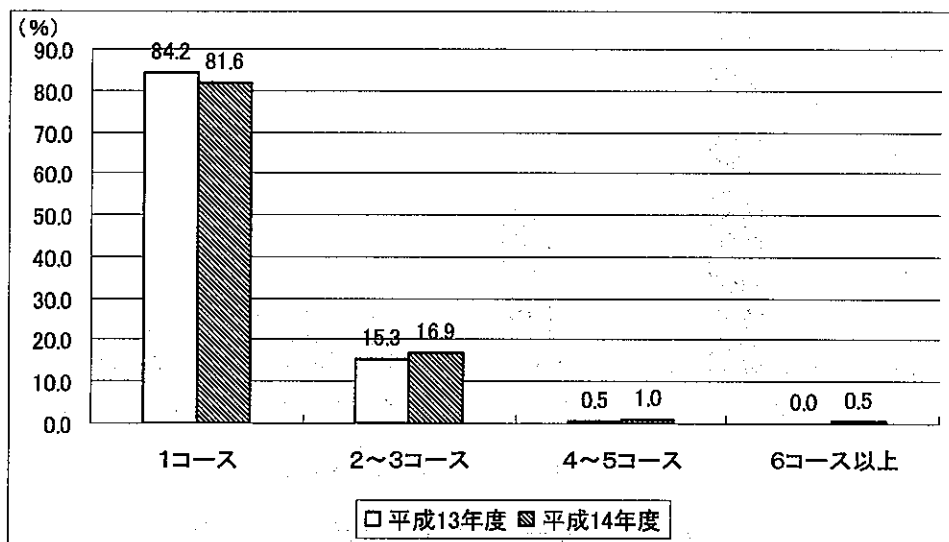


図2-11 管理・事務分野での受講コース数

* 調査分野が管理・事務分野であるアンケート票についての回答 * 不明は除く。

合計

1コース受講している者の割合が6～7割、2～3コース受講が2～3割となっている。
平成13年度に比べて平成14年度は、やや受講コース数が増加している。

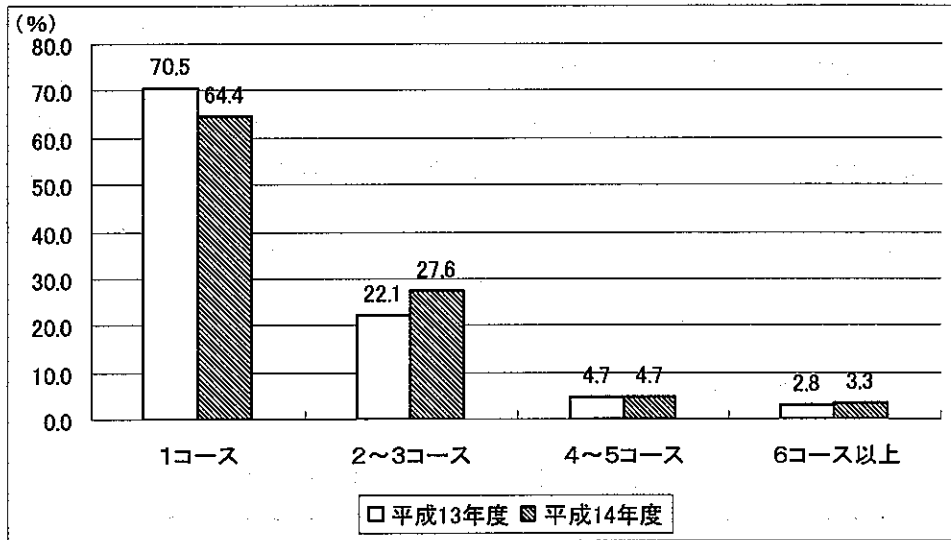


図2-1.2 受講コース数の合計

年度別の合計コース数を平均で比較すると、平成14年度は平均1.8コースと平成13年度に比べて若干高くなっている。

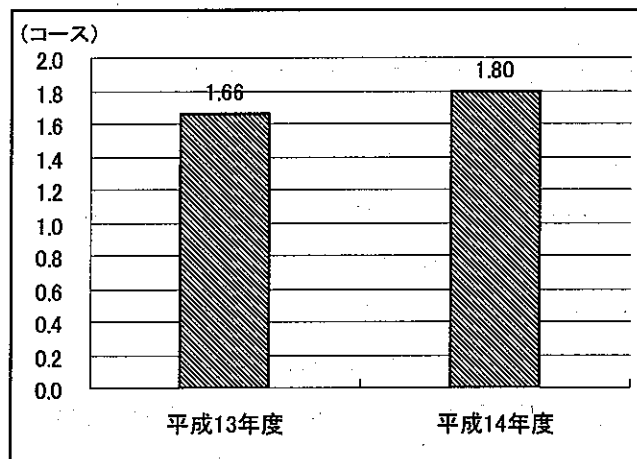


図2-1.3 受講コース数の比較

各分野の平均受講コース数

機械・制御分野の調査票を配布された受講者、すなわち1コース以上機械・制御分野を受講している者についてみると、機械・制御分野のコースは2回（以上）受講するケースもある（上の図参照）ものの、他の分野のコースはほとんど受講していない。情報・通信分野、建築・居住分野の場合も同様である。

これに対し、電気・電子分野の受講者の場合は機械・制御分野も受講するケースが、管理・事務分野の受講生の場合は情報・通信分野を受講するケースが、相対的にはやや多くなっている。

各分野の平均コース数

表 2-2 各分野の平均受講コース数

調査分野 \ 受講分野	機械・制御	電気・電子	情報・通信	建築・居住	管理・事務
機械・制御分野	1.32	0.09	0.03	0.01	0.00
	1.58	0.08	0.07	0.03	0.01
電気・電子分野	0.19	1.23	0.02	0.01	0.02
	0.18	1.56	0.09	0.00	0.04
情報・通信分野	0.02	0.02	1.38	0.01	0.00
	0.03	0.01	1.88	0.02	0.04
建築・居住分野	0.01	0.00	0.05	1.15	0.03
	0.05	0.02	0.12	1.38	0.01
管理・事務分野	0.00	0.01	0.08	0.01	1.13
	0.02	0.01	0.12	0.00	1.27

- * 調査分野とは回答者の分野を、受講分野とは問1-1の分野をさす。
- * 調査分野ごと・年度ごとに、調査分野と同じ受講分野の受講コース数が1以上のものを分析の対象とした（無回答の欄は0として集計）。
- * 上段は平成13年度、下段は平成14年度の平均である。
- * 調査分野毎の分析の対象者数（平均の母数）

機械・制御分野：平成13年度 207、平成14年度 239
 電気・電子分野：平成13年度 162、平成14年度 245
 情報・通信分野：平成13年度 296、平成14年度 338
 建築・居住分野：平成13年度 151、平成14年度 165
 管理・事務分野：平成13年度 166、平成14年度 201

2-4 能力開発セミナーを選んだ理由

問2. 雇用・能力開発機構が行う「能力開発セミナー」を受講先として選ばれた理由は何ですか。(複数回答)

「能力開発セミナー」を受講先として選んだ理由としては、「受講料が安い」と「上司・会社・知人などに勧められた」を約半数の人があげている(それぞれ47.5%、43.3%)。次いで、「テーマ・内容がニーズに合っている」が28.7%、「各コースの日程や時間・期間が適切である」が27.9%、「演習・実習がある」が24.3%、「立地条件がよい」が23.8%と続いている。

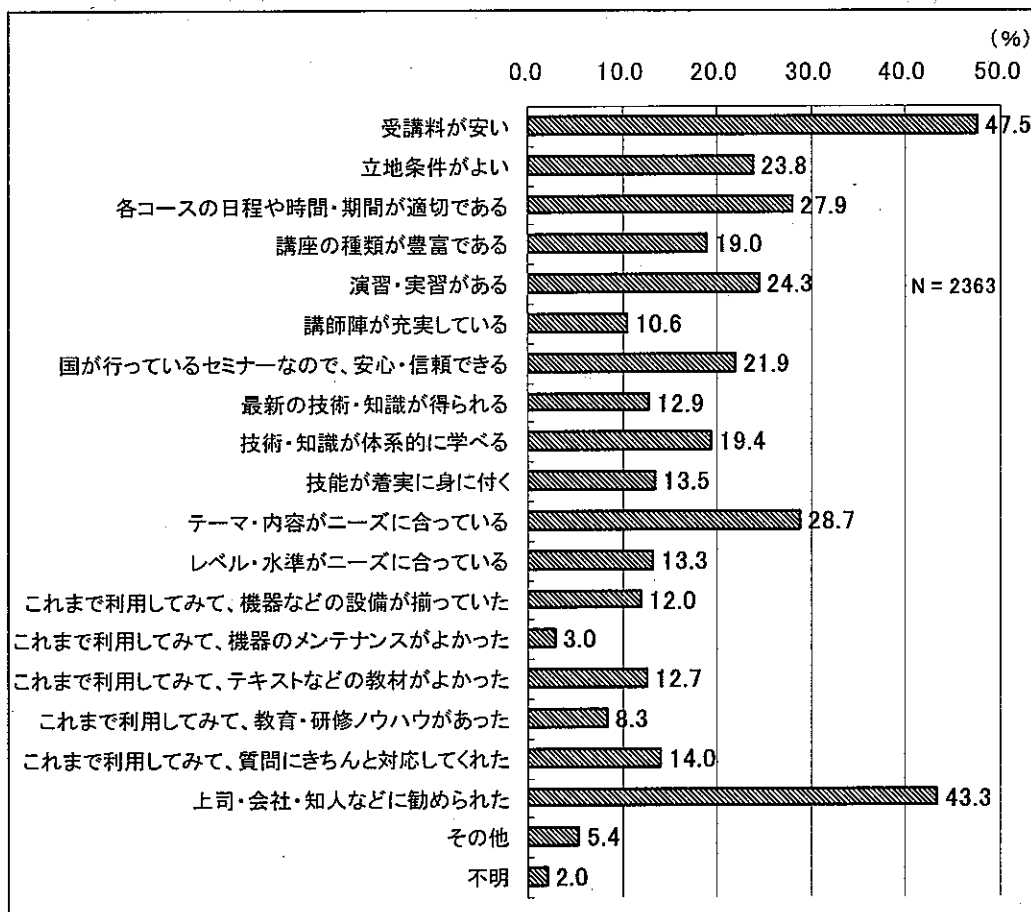


図2-14 受講先として選んだ理由

分野別にみると、機械・制御分野では56.8%が「上司・会社・知人などに勧められた」と回答しており、突出して高くなっている。電気・電子分野では、「上司・会社・知人などに勧められた」(44.1%)に続き「演習・実習がある」が他の分野と比べて多くあがっている(38.2%)。建築・居住分野では65.5%が「受講料が安い」をあげており、突

出して高くなっている。情報・通信分野では、「受講料が安い」が最も多く57.0%、次に「上司・会社・知人などに勧められた」（39.7%）の順になっている。管理・事務分野では「受講料が安い」「上司・会社・知人などに勧められた」「テーマ・内容がニーズに合っている」の順に3～4割の人があげており、他の分野に比べて特に「テーマ・内容がニーズに合っている」が高くなっている（35.1%）ことが注目される。

年齢別にみると、多くの項目で年齢が高くなるほど各選択肢を選ぶ割合も高くなる。特に「受講料が安い」は20歳代で25.7%に対し50歳代では65.4%、「各コースの日程や時間・期間が適切である」は20歳代15.2%に対し50歳代45.0%、「最新の技術・知識が得られる」は20歳代7.9%に対し50歳代22.0%、「これまで利用してみて、機器などの設備が揃っていた」は20歳代3.9%に対し50歳代23.5%となっている。

また職系別にみると、「受講料が安い」において「事務系」は理由としてあげる割合が多く（64.8%）、「技能系」は少なく（29.6%）になっている。

2-5 能力開発セミナーの受講の目的

問3. 能力開発セミナーを受講した目的は何ですか。(複数回答)

能力開発セミナーを受講した目的としては、「現在の業務遂行能力の向上」が突出して多く全体の78.2%となっており、次に続く目的の倍近くになっている。次いで、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が34.1%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力の向上」が31.7%が続く。

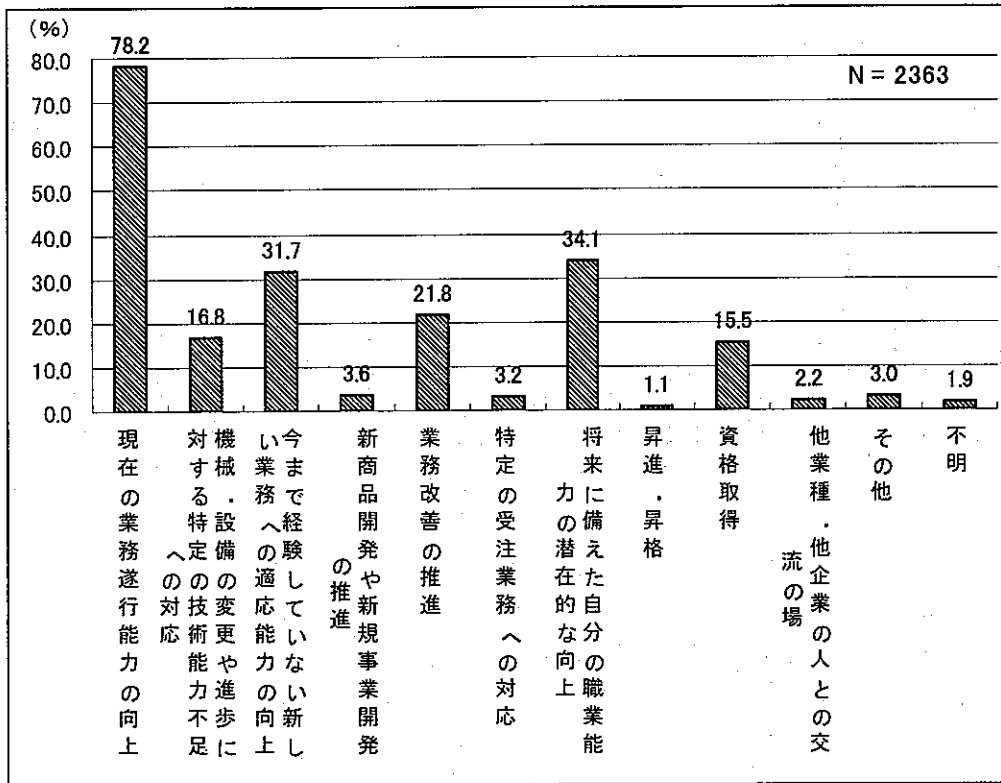


図2-15 受講した目的

分野別にみると、電気・電子分野で「資格取得」が30.8%、情報・通信分野と管理・事務分野で「業務改善の推進」が28.0%、31.8%と他の分野と比較して高くなっている。年齢別にみると、「業務改善の推進」は年齢が上がるほど高くなっている(20歳代:15.0%、50歳代:33.0%)。職系別にみると、管理系は「業務改善の推進」が高く(35.6%)、事務系は「機械・設備の変更や進歩に対する特定の技術能力不足への対応」が低く(9.6%)となっている。地域別にみると、「北海道・東北」「中国・四国」「九州・沖縄」では資格取得を目的とする場合が多く(19.1%、23.6%、29.1%)、「関東」「中部」「関西」では少ない(8.6%、8.9%、9.9%)。

2-6 能力開発セミナーの成果の活用

問4-1. あなたの所属する事業所では、能力開発セミナーの受講者にどんな義務を課していますか。（複数回答）

能力開発セミナーの受講者が課されている義務としては、「部門長・所属長への受講レポートの提出」が最も多く全体の35.5%の回答者があげている。「部門長・所属長への口頭での報告」も19.6%と比較的多くあがっている。一方で、課されている義務は「特になし」との回答も24.0%ある。

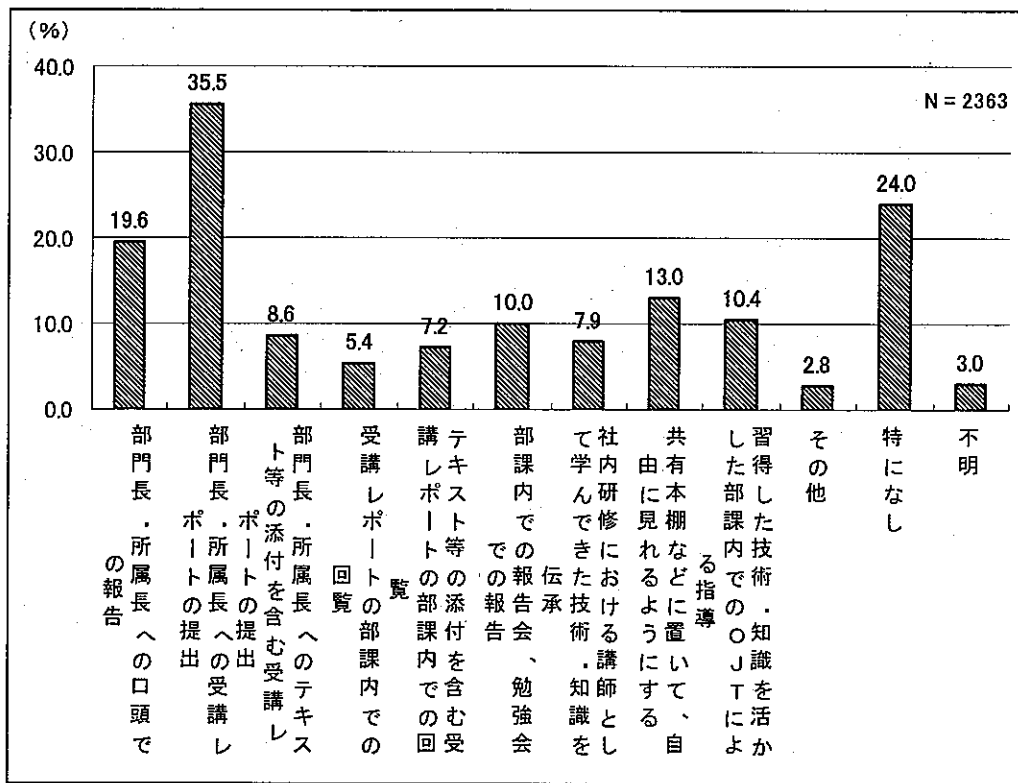


図2-16 受講後の伝達義務

分野別にみても、建築・居住分野で「部門長・所属長への受講レポートの提出」が13.9%と他に比べて際だって低い。

問4-2. 問4-1で答えていただいた方法により、ある1つの能力開発セミナーであなたが学んできた技術・知識は、貴事業所内でどれぐらいの人数に新しく技術・知識を付加しているでしょうか。 伝達される技術・知識のレベルごとに、一般的な場合のおおよその人数をお教えてください。

- (1) 受講者がセミナーで学んできたものとほぼ同じレベルの技術・知識を新しく得る人
- (2) 受講者がセミナーで学んできたものの概要・大枠を新しく理解する人
- (3) 受講者がセミナーで学んできたものの名称や、それがどういうものか程度のごく簡単なことを新しく理解する人
- (4) 受講者がセミナーその技術・知識を学んできたということを知っている人

伝達される技術・知識のレベルごとに平均をみると、「セミナーで学んできたものとほぼ同じレベルの技術・知識を新しく得る人」は平均3.2人、「セミナーで学んできたものの概要・大枠を新しく理解する人」は平均4.3人、「セミナーで学んできたものの名称や、それがどういうものか程度のごく簡単なことを新しく理解する人」の平均は6.9人、「セミナーでその技術・知識を学んできたということを知っている人」は平均13.7人となっている。

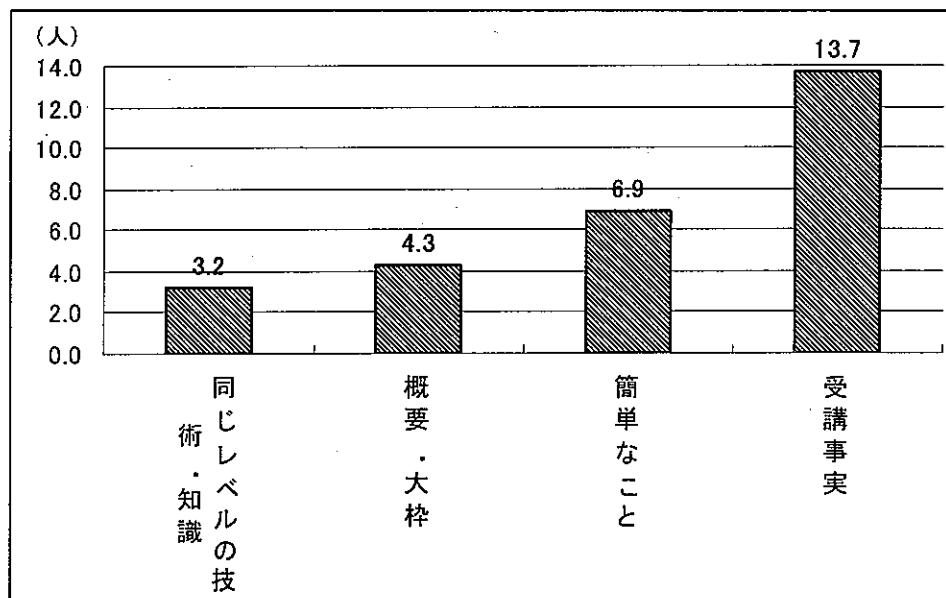


図2-17 受講後の職場での波及効果 (全体)

* 問4-1及び問4-2の各問の回答者の平均

* 同じレベルの技術・知識：1556、概要・大枠：1621、簡単なこと：1651、受講事実：1726

分野別にみると、どの伝達される技術・知識レベルにおいても、機械・制御分野で多くなっており、(1)から順に、4.3人、5.5人、9.1人、19.5人となっている。逆に、建築・居住分野では、伝達される順に低くなっており、同様に2.8人、2.9人、4.0人、8.8人となっている。

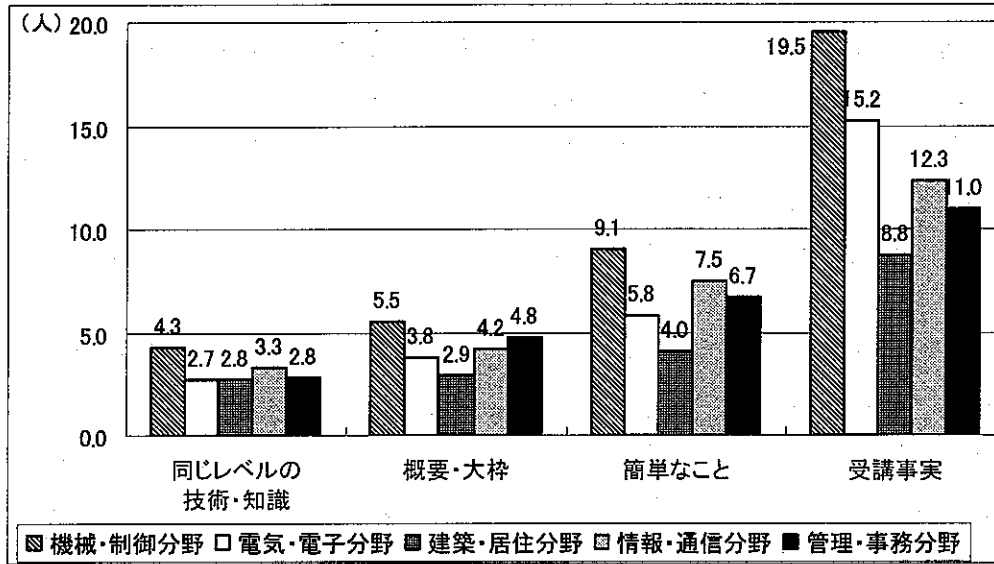


図 2 - 1 8 受講後の職場での波及効果 (分野別)

年齢別にみると、「同じレベル」「概要・大枠」「簡単なこと」では年齢が上になるにつれて伝達人数は大きくなる傾向にある（例えば「同じレベル」では、20歳代2.6人に対し、50歳代4.6人）。一方、「受講事実」は年齢が若い方が伝達人数は大きい。

従業員数別にみると、「300～999人」までは従業員数規模が大きくなるほどどのレベルでも伝達人数は大きくなるが、「1000人以上」はむしろ「300～999人」よりもどのレベルでも伝達人数が少なくなる。

2-7 能力開発セミナー受講によって受講者が受けたメリットの推定

問5-1. これまであなたがご利用いただいた能力開発セミナーがもし開催されていなかったとして、そのセミナーで得られるものと同等の知識・技能を得るために他の方法を取った場合、何倍程度の費用を必要とするとお考えになりますか。

能力開発セミナーではない方法で、同等の知識・技能を得ようとする場合の費用についてたずねた。回答を平均すると4.9倍の費用がかかる。

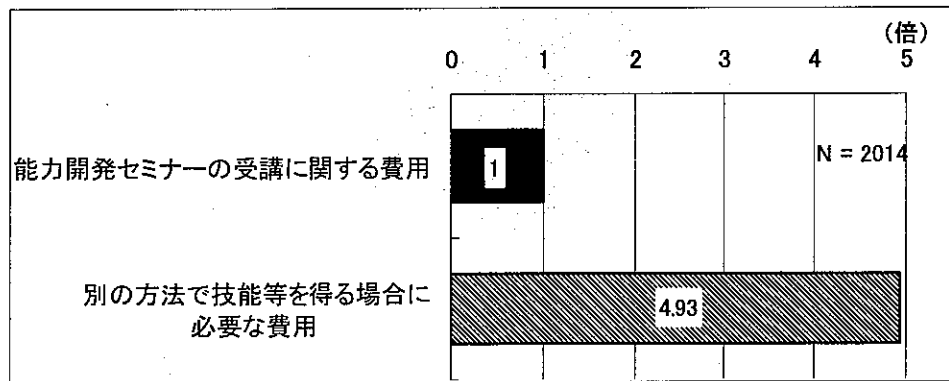


図2-19 費用の比較 (全体)

分野別にみると、建築・居住分野で最も費用が高く、回答の平均が6.0倍となっている。次いで高い順に機械・制御分野の5.3倍、情報・通信分野の4.8倍、管理・事務分野の4.5倍、最も低いのが電気・電子分野で4.3倍となっている。

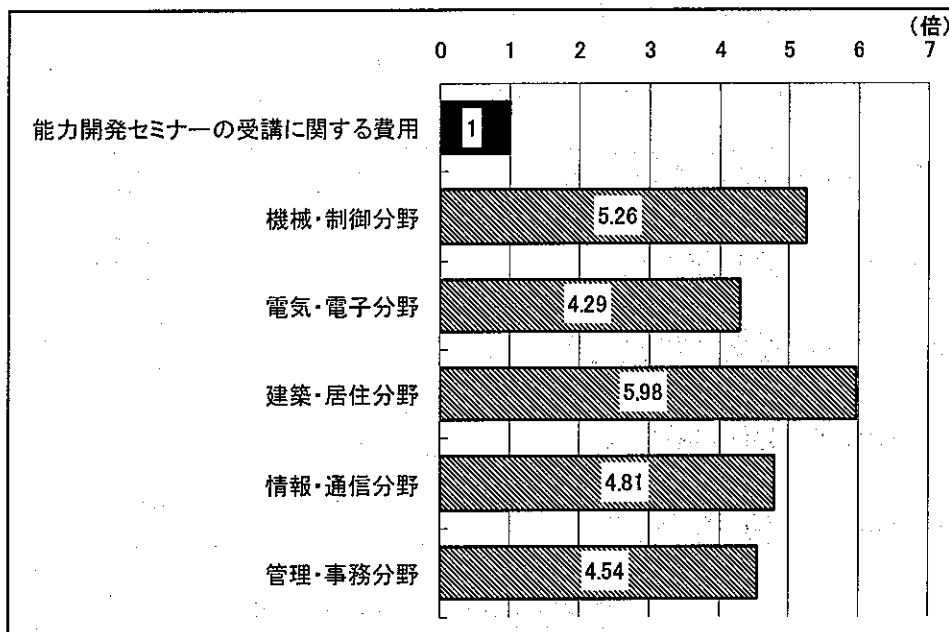


図2-20 費用の比較 (分野別)

問5-2. 問5-1で「他の方法を取った場合」とお尋ねしましたが、そもそも雇用・能力開発機構が実施している能力開発セミナーによってしか得られない知識・技能が提供されているセミナーはありますか。

能力開発セミナーによってしか得られない知識・技能が提供されている能力開発セミナーについては、18.1%の人が「ない」と回答している。「ある」と回答している人は9.6%に留まっている。また、64.8%の人がわからないと回答している。

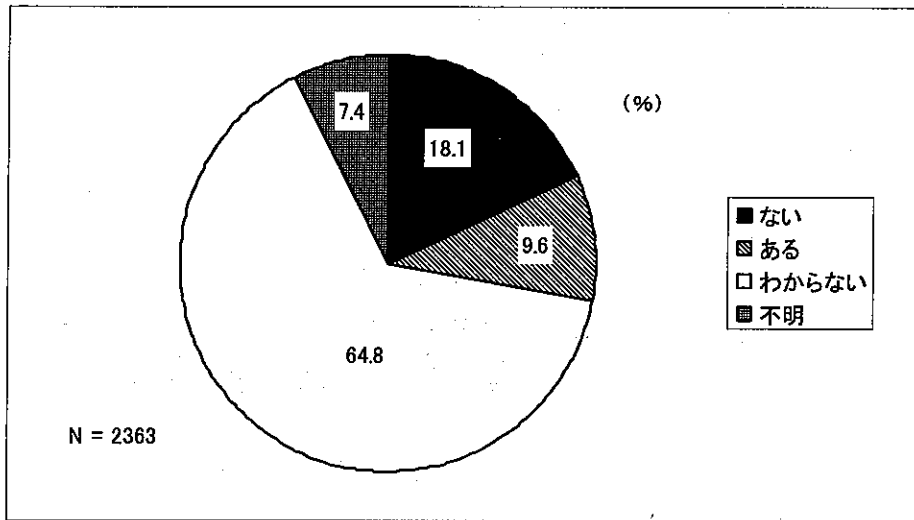


図2-21 能力開発セミナーでしか得られない知識・技能 (全体)

分野別にみると、機械・制御分野では「ない」と回答した者が比較的多く22.5%となっている。建築・居住分野では「ある」と回答した者が比較的多く12.2%となっている。

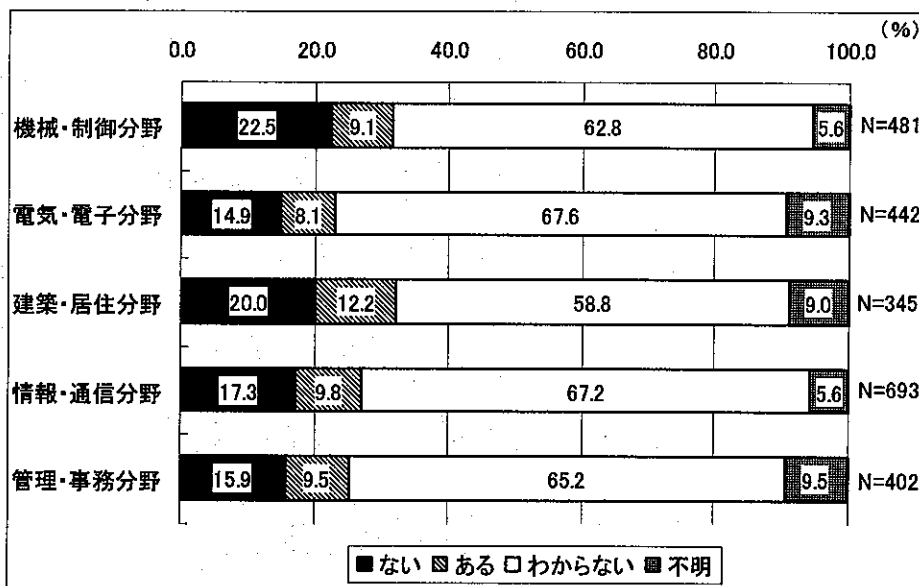


図2-22 能力開発セミナーでしか得られない知識・技能 (分野別)

2-8 受講した能力開発セミナーの評価

問6-1. あなたはこの能力開発セミナーを受講することによってどのような面の技術・知識が向上することを期待して、受講しましたか。(複数回答)

どのような面の技術・知識が向上することを期待して能力開発セミナーを受講したかについては、「基本的な技術・知識の習得」をあげた者が全体の86.2%にのぼっている。次に、「業務遂行の実践的な能力向上」が61.3%、「専門的な技術・知識の習得」が50.7%といずれも半数以上の者があげている。反対に、「創造的な技術・知識の習得」「高度な技術・知識の習得」「先端的な技術・知識の習得」などは少なくなっている。

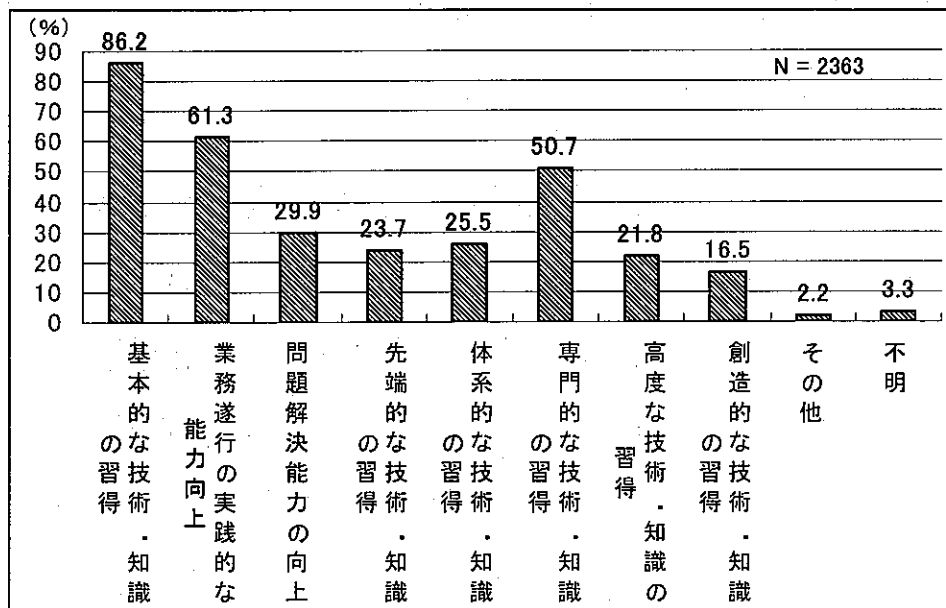


図2-23 向上を期待した技術・知識

分野別にみると、どの分野とも上記の3つが上位3つになっている。電気・電子分野では「業務遂行の実践的な能力向上」をあげる者が他の分野と比較して低く(53.4%)、「専門的な技術・知識の習得」をあげる者が多くなっている(61.1%)。管理・事務分野では「基本的な技術・知識の習得」をあげる者が他の分野と比較して低く(76.1%)、「業務遂行の実践的な能力向上」「問題解決能力の向上」をあげる者の割合が比較的高くなっている(70.1%・40.5%)。

職系別にみると、他の職系に比べて事務系は「業務遂行の実践的な能力向上」を期待する割合が多くなっている(71.3%)。

問6-2. 実際に受講してみて、受講前に期待していた内容とセミナーで提供された内容はマッチしていましたか。(問6-1で○をつけた期待項目について)

「基本的な技術・知識の習得」に関しては、期待とある程度合致していた割合が高い(「ある程度合っていた」・「ぴったり合っていた」の合計が87.2%)。次いで合致していた割合が高いのは、「業務遂行の実践的な能力向上」の68.8%、「専門的な技術・知識の習得」の67.7%、「体系的な技術・知識の習得」の66.7%である。即ち、問6-1で期待が高かった項目については、軒並み高い評価を得ている。

期待と合致していなかった割合が最も高いのは「高度な技術・知識の習得」で17.5%の者が「全く合っていなかった」「あまり合っていなかった」と回答している。次いで、「創造的な技術・知識の習得」、「問題解決能力の向上」があがる(「全く合っていなかった」と「あまり合っていなかった」の合計がそれぞれ15.4%、12.6%)。

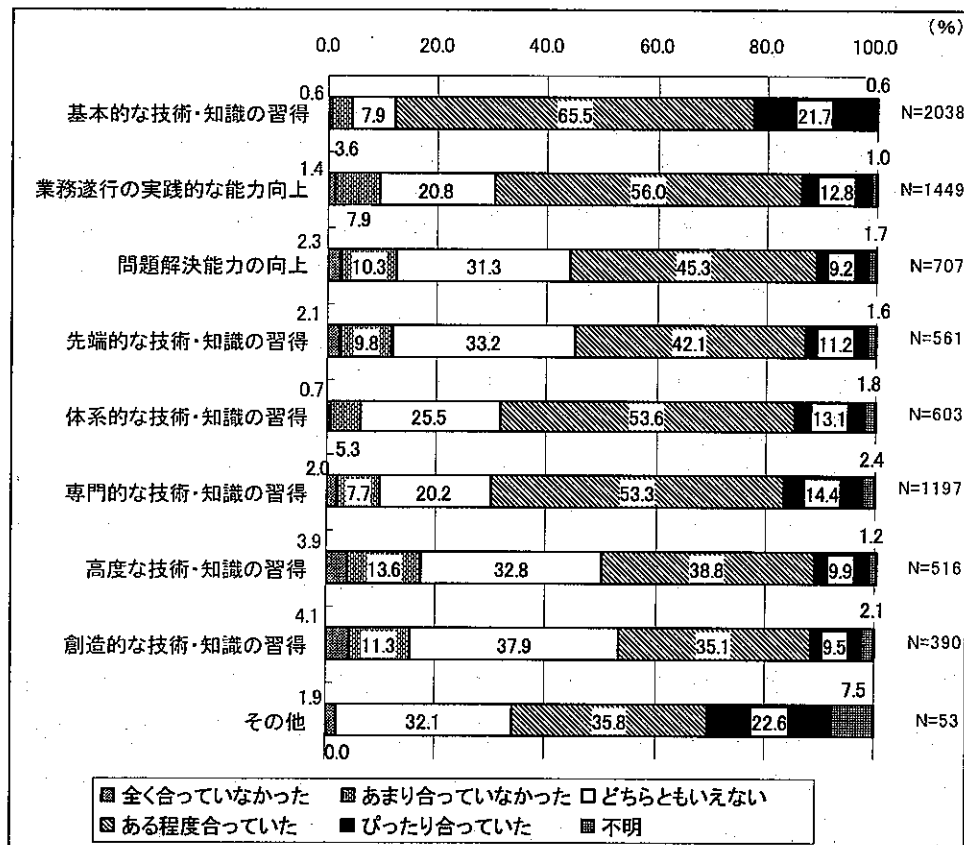


図2-24 期待した内容と実際の合致度

問6-1ですべての分野で最も期待が大きかった「基本的な技術・知識の習得」について分野別に合致度合いをみると、「ある程度合っていた」と「ぴったり合っていた」の合計は最も低い管理・事務分野で81.7%、最も高い建築・居住分野で89.0%となっており、どの分野でも概ね期待にマッチした内容となっていることがわかる。

問6-3. 実際に受講してみて、どの程度習得できましたか。

(問6-1で○をつけた期待項目について)

「基本的な技術・知識の習得」に関しては、習得できた割合が高い（「ある程度習得できた」・「十分習得できた」の合計が81.8%）。次いで習得できた割合が高いのは、「業務遂行の実践的な能力向上」の64.4%、「体系的な技術・知識の習得」の60.2%、「専門的な技術・知識の習得」の58.0%である。

習得できなかった割合が最も高いのは「高度な技術・知識の習得」で20.9%の者が「全く習得できなかった」あるいは「あまり習得できなかった」と回答している。次いで、「創造的な技術・知識の習得」、「先端的な技術・知識の習得」があがる（「全く習得できなかった」と「あまり習得できなかった」の合計がそれぞれ20.0%、16.2%）。

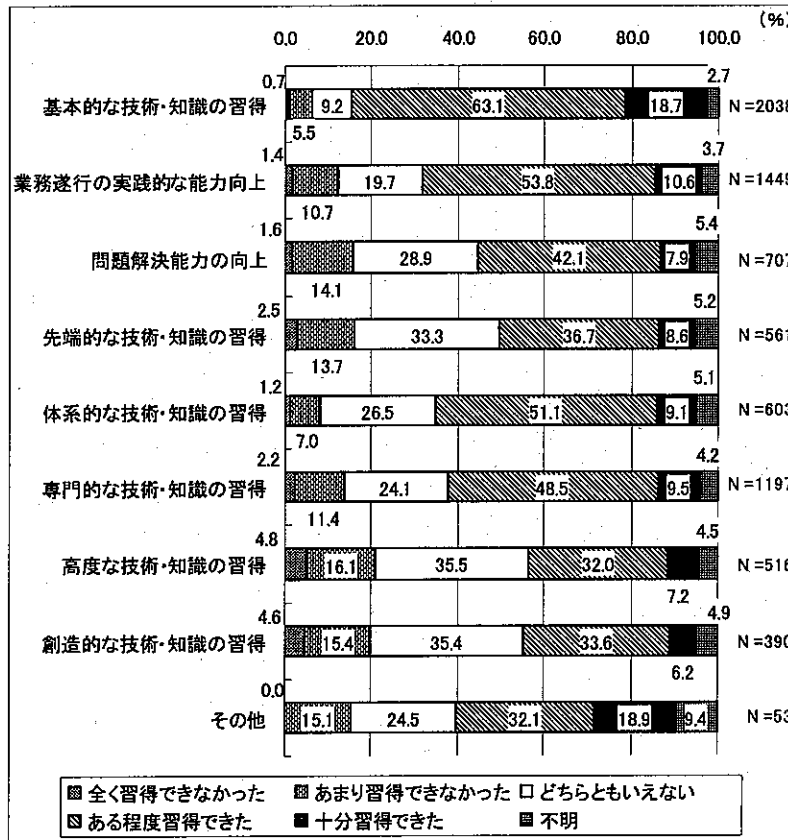


図2-25 受講後の習得度合

問6-1ですべての分野で最も期待が大きかった「基本的な技術・知識の習得」について分野別に習得程度をみると、「十分習得できた」と「非常に十分習得できた」の合計は最も低い管理・事務分野で76.8%、最も高い電気・電子分野で85.0%となっている。問8-2での合致度合いが大きかった分野ほど習得程度も高い傾向にあるが、建築・居住分野は合致度合いが高いものの習得度合いは相対的に低い傾向にある。

問7. この能力開発セミナーを受講して、どんな感想をお持ちになりましたか。

全体の76.3%が「質問にきちんと対応してくれる」という感想を持っており、「演習・実習がある」「安心・信頼できる」という感想を持っている者の割合も高い（それぞれ、71.3%、70.5%、いずれも「ほぼそう思う」と「全くそう思う」の合計）。
一方、立地条件に関しては、21.2%の人がよくないと考えており、コースの日程や時間・期間については10.0%の人が、最新の技術・知識を得られるかについては9.3%の人が否定的な回答をしている（「全くそう思わない」「あまりそう思わない」の合計）。

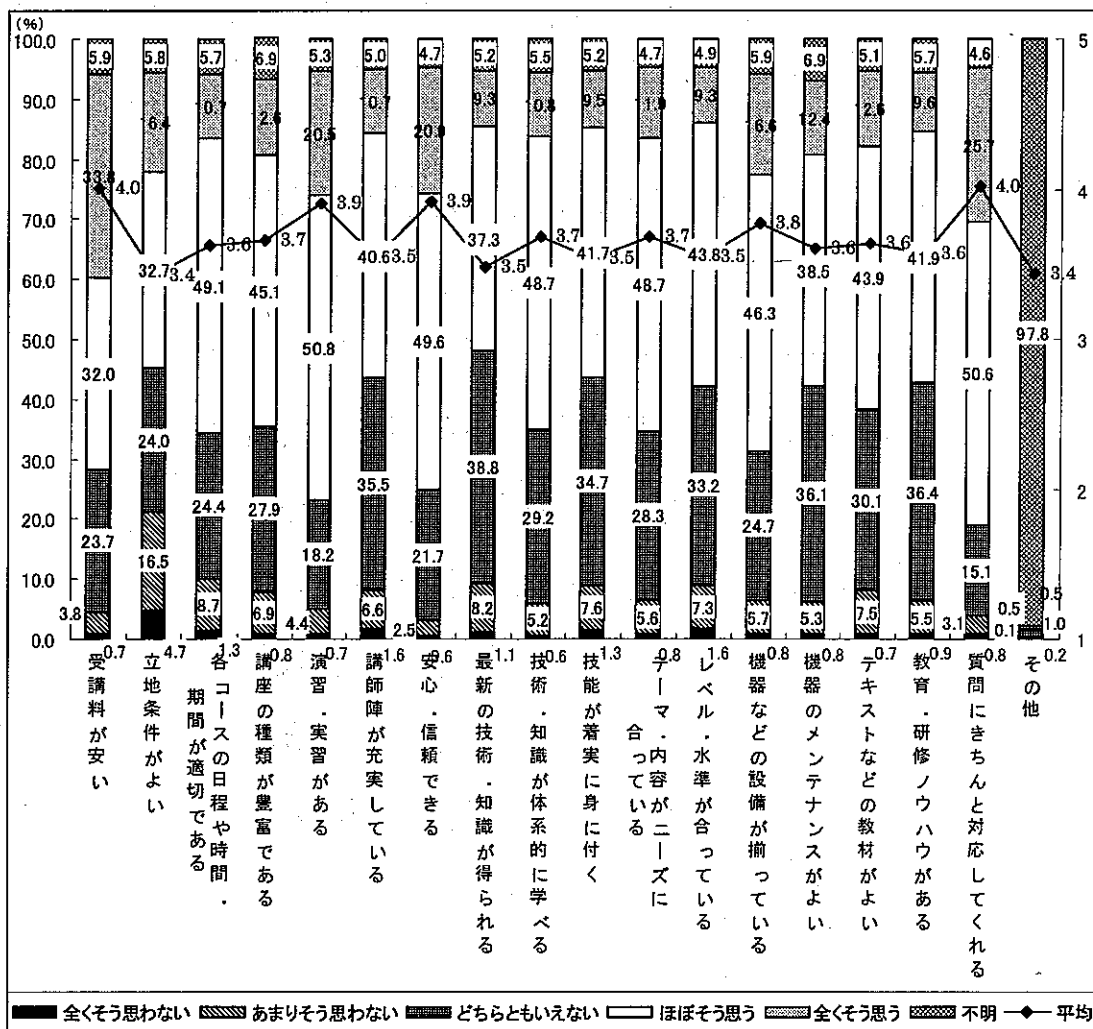


図2-26 受講後の感想

*平均とは、「全くそう思わない」～「全くそう思う」の選択肢に1～5をあてはめて計算したもの。

分野別にみると、次のような項目で評価が高い。

- ・機械・制御分野及び電気・電子分野：
「演習・実習がある」「質問にきちんと対応してくれる」「安心・信頼できる」
- ・建築・居住分野：
「質問にきちんと対応してくれる」「受講料が安い」「安心・信頼できる」
- ・情報・通信分野：
「質問にきちんと対応してくれる」「受講料が安い」「機器などの設備が揃っている」
- ・管理・事務分野：
「質問にきちんと対応してくれる」

問8. この能力開発セミナーで今後改善していくべき点はどのような点だとお考えになりますか。(複数回答)

改善していくべき点として最も多くあがっているのは、「よりわかりやすい内容に」(30.1%)である。次いで、「より高度で実践的な内容に」が28.3%、「実技の拡充」が23.3%、「夜間に開催する」が19.1%、「より基礎的な内容に」が19.0%となっている。

問6-1～問6-3の回答と合わせて考えると、もともと基礎的な内容を求めて能力開発セミナーを受講した受講生が、受講により基礎的な内容を身につけることができたので、次のステップとしてより実践的な内容をより実技を交えてよりわかりやすく教えてくれることを期待しているといえよう。

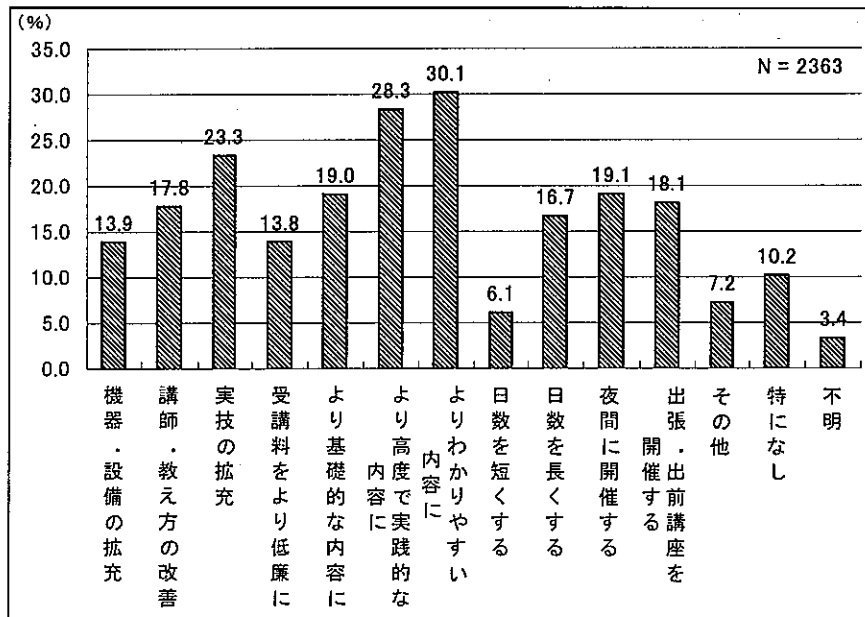


図2-27 今後改善を期待する事項

分野別にみると、機械・制御分野では、「より高度で実践的な内容に」「実技の拡充」「よりわかりやすい内容に」の順が多い(29.9%、29.1%、27.7%)。電気・電子分野では「よりわかりやすい内容に」が最も多く、次いで「実技の拡充」「より高度で実践的な内容に」の順である(31.4%、30.1%、26.0%)。これが建築・居住分野と情報・通信分野になると、「実技の拡充」の代わりに「夜間に開催する」が入り、「よりわかりやすい内容に」「より高度で実践的な内容に」「夜間に開催する」の順となる(建築・居住分野：27.5%、25.2%、25.2%。情報・通信分野：30.7%、27.6%、23.1%)。管理・事務分野では、「より高度で実践的な内容に」が最も多く(32.8%)、ほとんど変わらず「よりわかりやすい内容に」(32.6%)が続く。年齢別にみると、年齢があがるにつれ「夜間に開催する」を指摘する割合は大きくなる(20歳代：14.2%、50歳代：28.4%)。

問9. この能力開発セミナーでの講師の教え方はいかがでしたか。

講師の教え方については、75.7%の人が「全体としてよかった」と評価している。「質問にきちんと答えてくれた」(73.8%)、「講義のポイント、重要な点を示してくれた」(71.1%)も評価する割合が高くなっている。(いずれも「ほぼそう思う」「全くそう思う」の合計。)

一方、比較的评价が低かった項目としては、「今後学習を進めるためのやり方を教えてくれた」(18.6%)、「わからないところはわかるまで教えてくれた」(12.6%)、「難しいところは丁寧に教えてくれた」(8.2%)があげられる。(いずれも「全くそう思わない」「あまりそう思わない」の合計。)

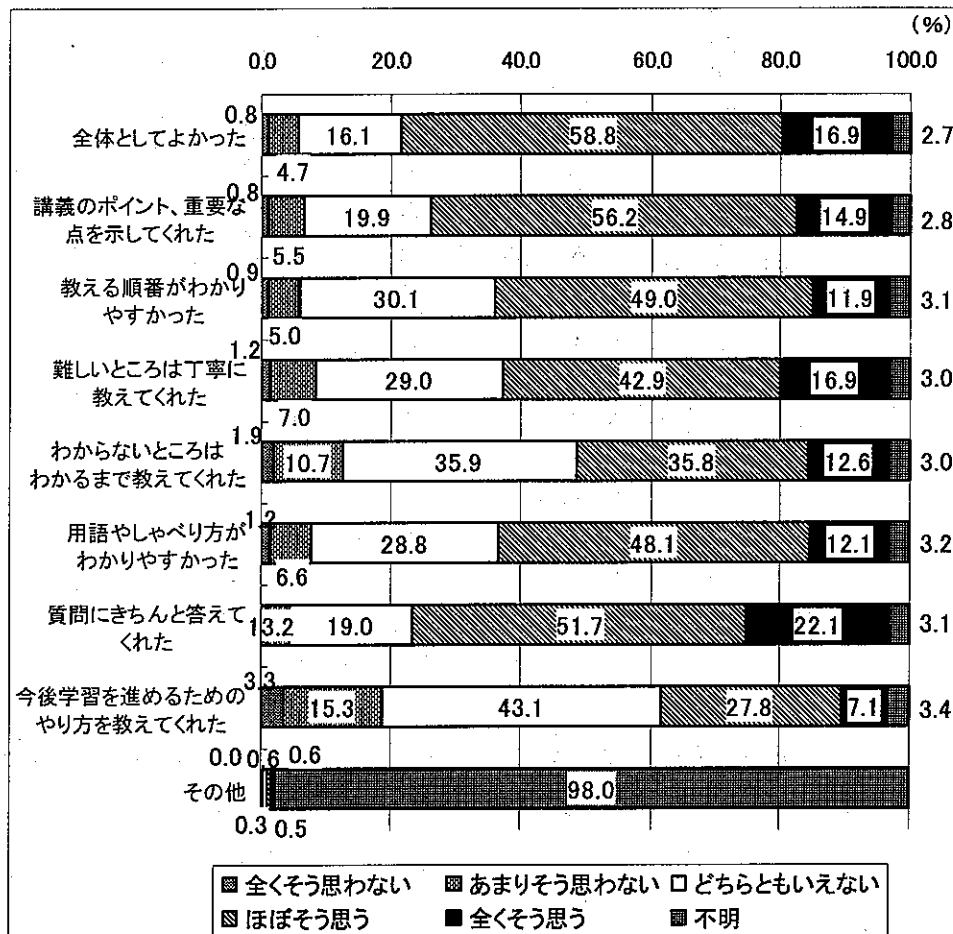


図2-28 講師の指導に対する感想

分野別にみると、どの分野でも全体と同じような傾向を示している。また、どの分野でも「今後学習を進めるためのやり方を教えてくれた」で評価が低くなっている。

2-9 能力開発セミナーの効果

問10. この能力開発セミナーをあなたが受講したことで、貴社の経営面で、どのような効果があったと思いますか。（複数回答）

能力開発セミナーの経営面への効果については、「人材の活性化」（29.2%）が一番目に、「組織全体の業務遂行能力の向上」（28.6%）が二番目にあがり、この二項目が目立って多くなっている。次いで、「新技術の導入力の向上」（16.1%）、「経営・業務のIT化」（14.4%）があがっている。一方、「特になし」という回答も23.4%みられる。

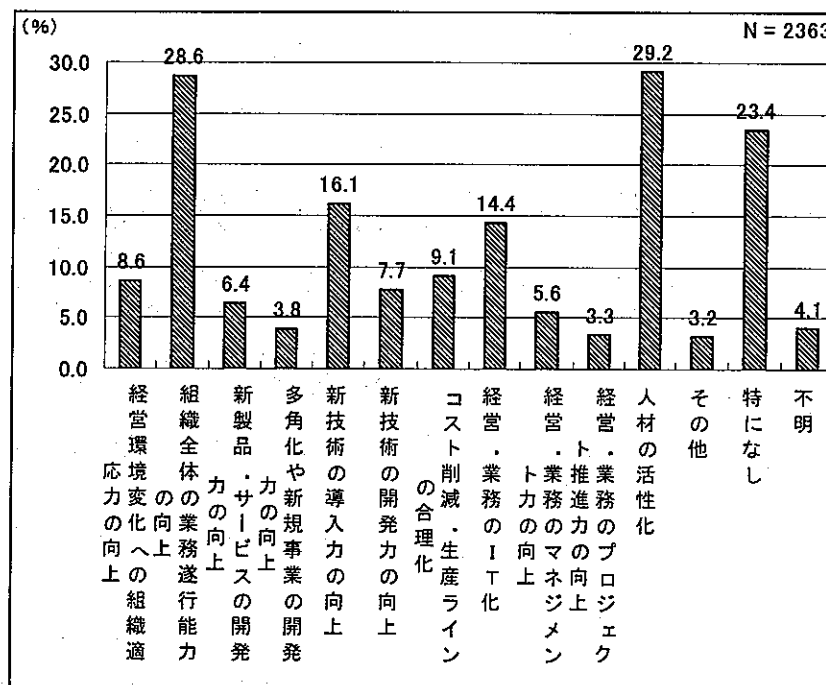


図2-29 受講による経営面での効果

分野別にみると、機械・制御分野と電気・電子分野では「人材の活性化」が最も多くあがっている（36.6%、35.3%）。建築・居住分野と管理・事務分野では「組織全体の業務遂行能力の向上」が最も多くあがり（29.9%、29.1%）、情報・通信分野では「組織全体の業務遂行能力の向上」と「経営・業務のIT化」が最も多くあがっている（共に27.8%）。機械・制御分野では「コスト削減・生産ラインの合理化」をあげる者が、他の分野と比較して多い（15.4%）。管理・事務分野では「経営・業務のマネジメント力の向上」をあげる者が他の分野と比較して多い（16.9%）。年齢別にみると、「組織全体の業務遂行能力の向上」「経営・業務のIT化」「経営環境変化への組織適応力の向上」「経営・業務のマネジメント力の向上」などで、年齢があがるほど「効果があった」とする割合が増えている。

問11-1. この能力開発セミナーを受講した目的は、次のうちどれですか。（複数回答）

能力開発セミナーを受講した目的としては、「現在の業務遂行能力の向上」が全体の72.5%と突出している。次に「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が49.2%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が42.6%あがっている。

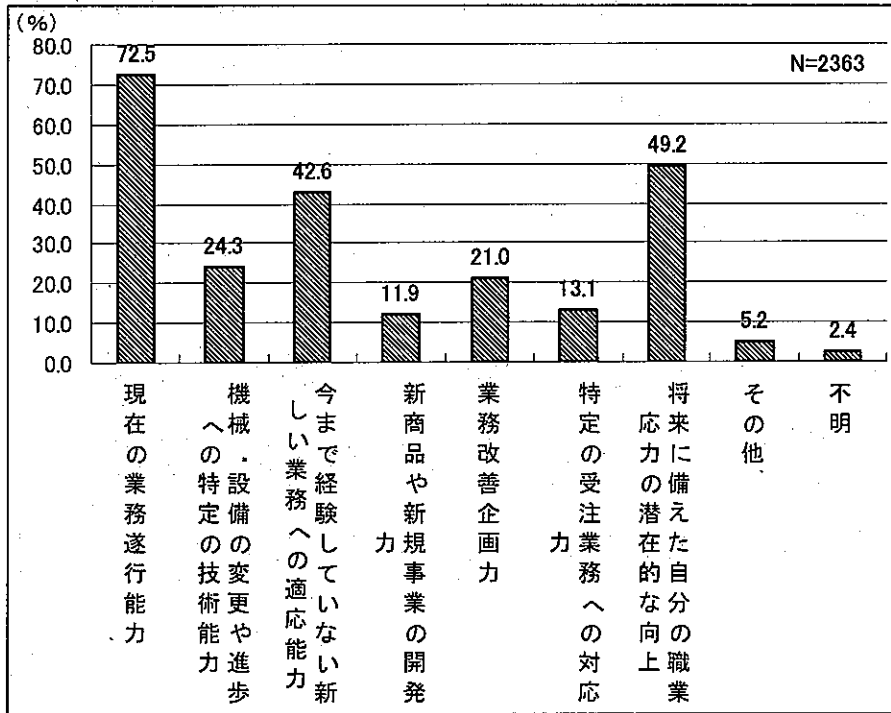


図2-30 受講した目的

分野別にみると、情報・通信分野以外の4分野で、「現在の業務遂行能力の向上」（約7割）、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」（約5割）、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」（約4割）の順である。情報・通信分野では、2番目と3番目が逆転している。

問11-2. この能力開発セミナーを受講したことで、問11-1で○をつけた項目は、それぞれの程度向上しましたか。

能力開発セミナーの受講により向上した能力としては、「現在の業務遂行能力の向上」をあげる人が最も多い（74.3%）。次いで、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が65.6%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が63.5%となっている（いずれも「ある程度向上した」と「とても向上した」の合計）。

能力開発セミナーの受講によりあまり向上しなかった能力としては、「特定の受注業務への対応力」が第一にあがる（12.6%）。次に「新商品や新規事業の開発力」が11.1%、「業務改善企画力」が10.2%と多くなっている。

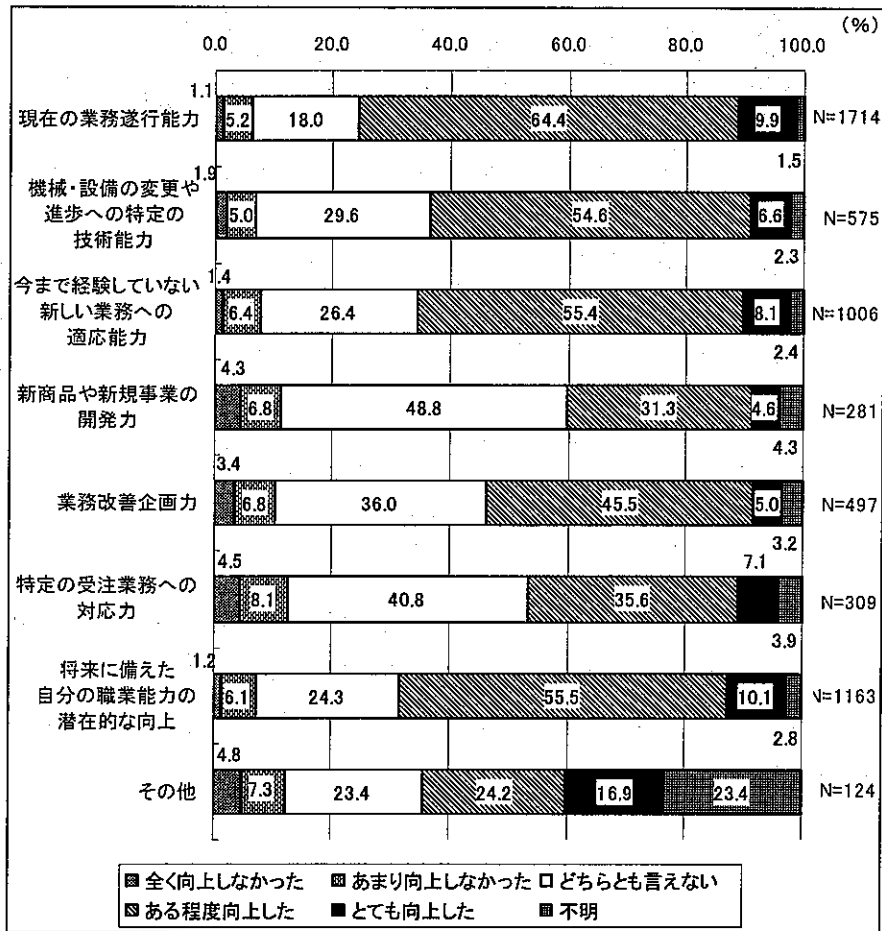


図2-31 受講による向上した能力

問11-1ですべての分野で目的としてあげられることが最も多かった「現在の業務遂行能力の向上」について分野別に向上具合をみると、「ある程度向上した」と「とても向上した」の合計は72.6%~75.0%となっており、どの分野でも概ね目的とした能力の向上が図られたこととなっていることがわかる。

問11-3. 問11-1で○をつけた項目について、この能力開発セミナーで得たものを実際の仕事に活用することができましたか。(複数回答)

実際の仕事に活用できた能力としては、「現在の業務遂行能力」が69.3%で最も高い。次いで、「機械・設備の変更や進歩への特定の技術能力」が55.3%、「特定の受注業務への対応力」が47.2%、「業務改善企画力」が46.9%、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が46.1%となっている。

実際の仕事に活用できなかった能力としては、「今まで経験していない新しい業務への適応能力」が最も多くあがっており(33.7%)、次いで「新商品や新規事業の開発力」が28.1%、「業務改善企画力」が26.8%あがっている。

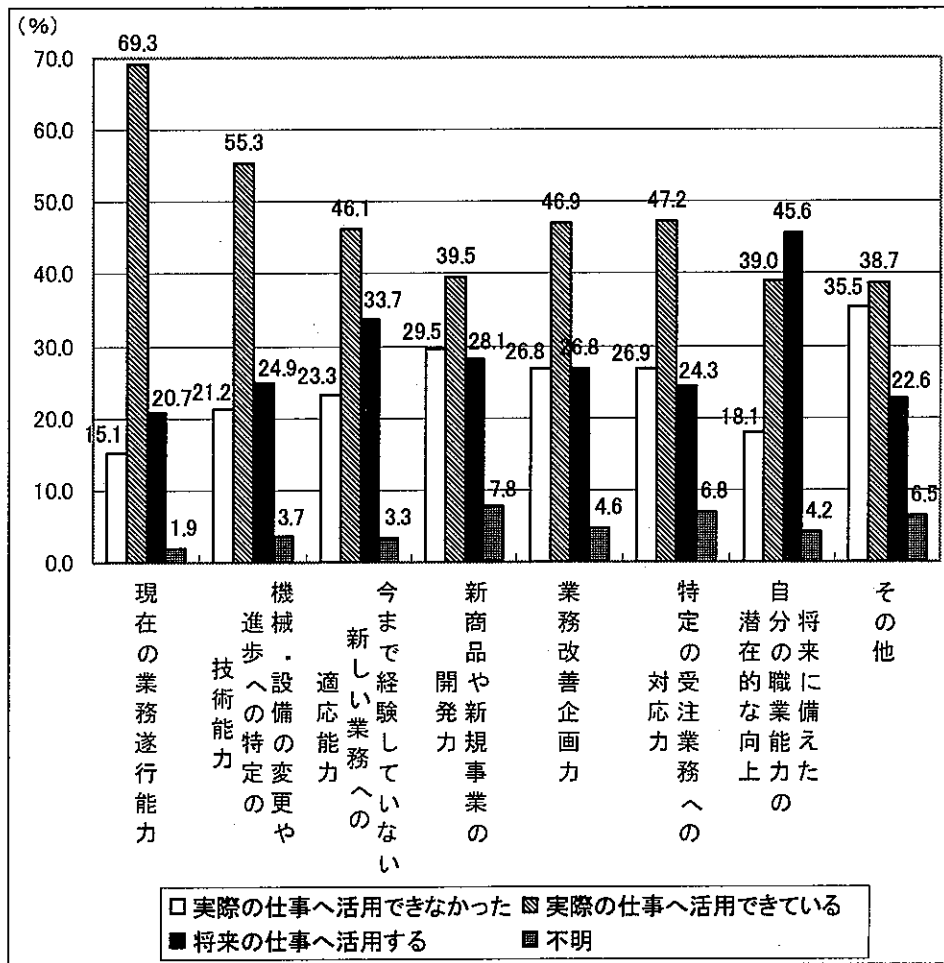


図2-32 職場での活用度合

問11-1ですべての分野で目的としてあげられることが最も多かった「現在の業務遂行能力の向上」について分野別に仕事への活用度合いをみると、「実際の仕事に活用

できている」が最も高かったのは機械・制御分野の78.5%、最も低かったのは情報・通信分野の66.1%である。また、管理・事務分野では「実際の仕事へ活用できなかった」の割合が他の分野よりも高い(21.6%)。

他の目的についても、管理・事務分野でも「実際の仕事へ活用できなかった」の割合が他の分野よりも高い。また、電気・電子分野と情報・通信分野では、「将来に備えた自分の職業能力の潜在的な向上」が他の分野よりも際だって大きくなっている(45.3%、53.1%)。

問11-4. 問11-3でいずれかの項目で「1 実際の仕事へ活用できなかった」に○をつけた方にお伺いします。活用できなかった理由は何ですか。（複数回答）

活用できなかった理由としては、全体の44.0%の人が「学んだことを生かせるような仕事に出会わなかったから」をあげている。次いで、「内容が実務で活用するような内容にはなっていなかった」が30.3%、「セミナーの内容が十分身に付かなかったから」が21.4%となっている。

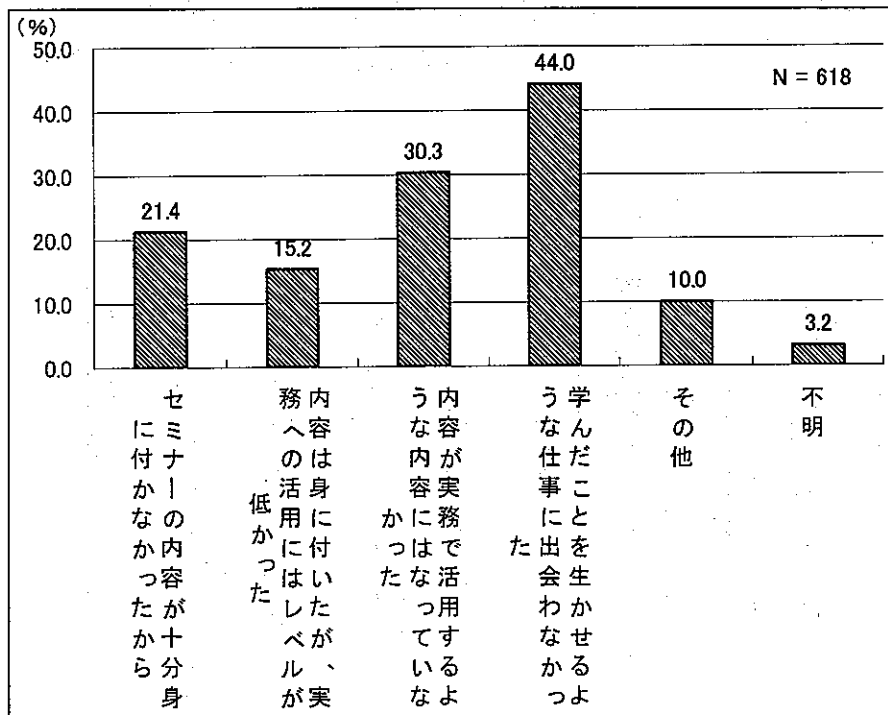


図2-33 職場で活用できなかった理由

分野別にみると、機械・制御分野では「内容が実務で活用するよう内容にはなっていなかった」をあげる者の割合（36.7%）が他の分野と比較して高い。電気・電子分野では「学んだことを生かせるような仕事に出会わなかった」をあげる者の割合（52.5%）が他の分野と比較して高くなっており、「セミナーの内容が十分に身に付かなかったから」が比較的低くなっている（13.1%）。管理・事務分野では、「セミナーの内容が十分身に付かなかったから」をあげる者の割合（28.2%）が他の分野と比較して高くなっている。

2-10 今後の教育ニーズ

問12-1. あなたが今後身に付けていく必要があるとお考えになる知識・能力は、次のうちどれでしょうか。（複数回答）

今後身に付ける必要性がある知識・能力としては「一般的な基礎知識・技能」をあげる人が最も多い（60.1%）。次いで、「担当業務の実務能力」が54.0%、「担当業務への精通と応用能力」が48.5%となっている。

分野別にみると、管理・事務分野では「担当業務の実務能力」が最も多くあがっており（53.2%）、その他の分野では「一般的な基礎知識・技能」が最も多くあがっている（56.5%～66.7%）。

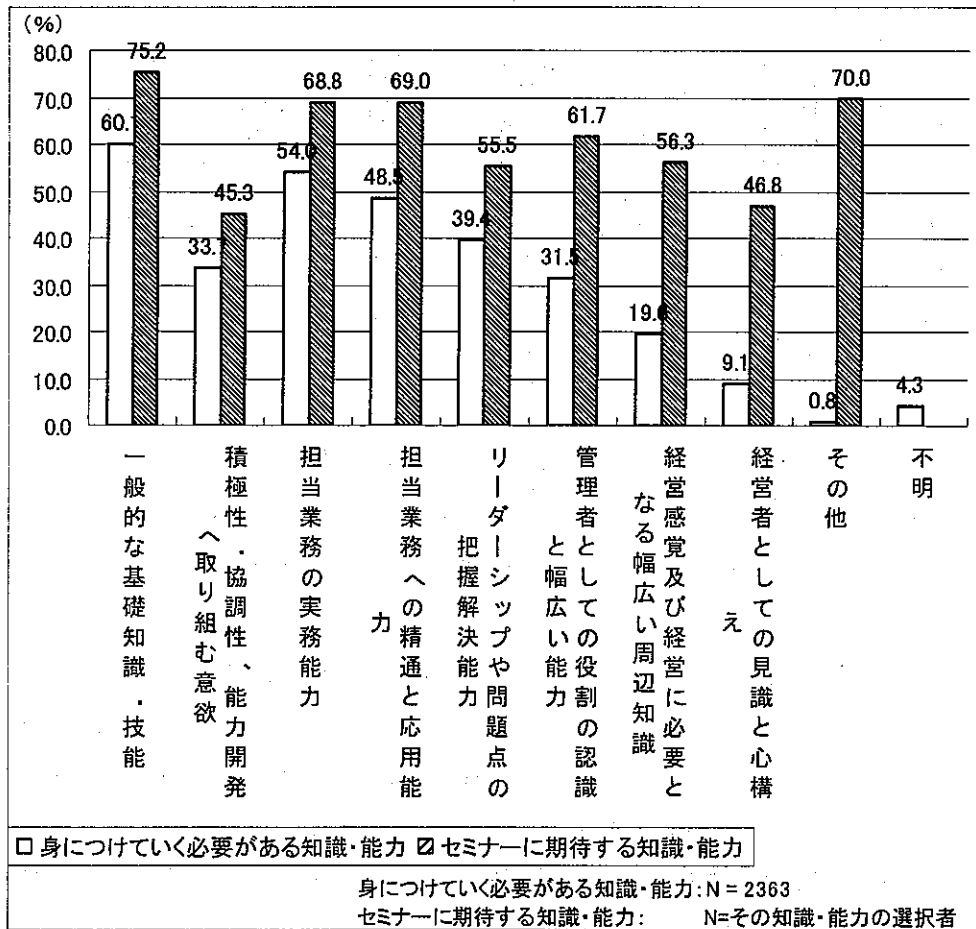


図2-34 今後身に付ける必要がある能力およびセミナーでの提供を期待する能力

問12-2. 問12-1で○をつけた項目のうち、雇用・能力開発機構が実施する能力開発セミナーで、習得の機会が提供されることを期待されるものは何でしょうか。（複数回答）

能力開発セミナーで習得の機会が提供されることを期待する割合が大きいものは、「一般的な基礎知識・技能」が最も多く（75.2%）、次いで「担当業務への精通と応用能力」（69.0%）、「担当業務の実務能力」（68.8%）の順である。

分野別にみると、管理・事務分野では「担当業務への精通と応用能力」が最も多くあがっており（77.2%）、その他の分野では「一般的な基礎知識・技能」が最も多くあがっている（73.2%～80.1%）。問12-1の結果と比べると、建築・居住分野と管理・事務分野において「担当業務への精通と応用能力」の機会の提供が能力開発セミナーにより求められていることがわかる。

年齢別にみると、「一般的な基礎知識・技能」「積極性・協調性、能力開発へ取り組む意欲」「担当業務の実務能力」「担当業務への精通と応用能力」で、年齢が上がるにしたがって「身に付ける必要がある」とする割合は下がっていく。

職系別にみると、他の職系と比べて管理系では、「管理者としての役割の認識と幅広い能力」「経営感覚及び経営に必要となる幅広い周辺知識」が多く指摘されている。

（「図2-34 今後身に付ける必要がある能力およびセミナーでの提供を期待する能力」参照）

問13. 次のうち、あなたの担当職務に関連してあなたが今後習得していこうとお考えのものを教えてください。（複数回答）

今後習得しようとする技術・技能としては、「データベース」をあげている人が最も多い（22.0%）。次いで、「パソコンOS」が21.9%、「インターネット・イントラネット（サーバー管理等）」が20.6%、「CAD/CAM/CAE」が20.3%、「LAN・WAN（ネットワーク構築技術など）」が17.8%、「プログラミング」が16.5%となっている。「CAD/CAM/CAE」を除くと、情報系科目ばかりとなるが、この結果は回答者の構成（調査票は現場ではなく能力開発担当者宛に送付）にも関係していると思われる。

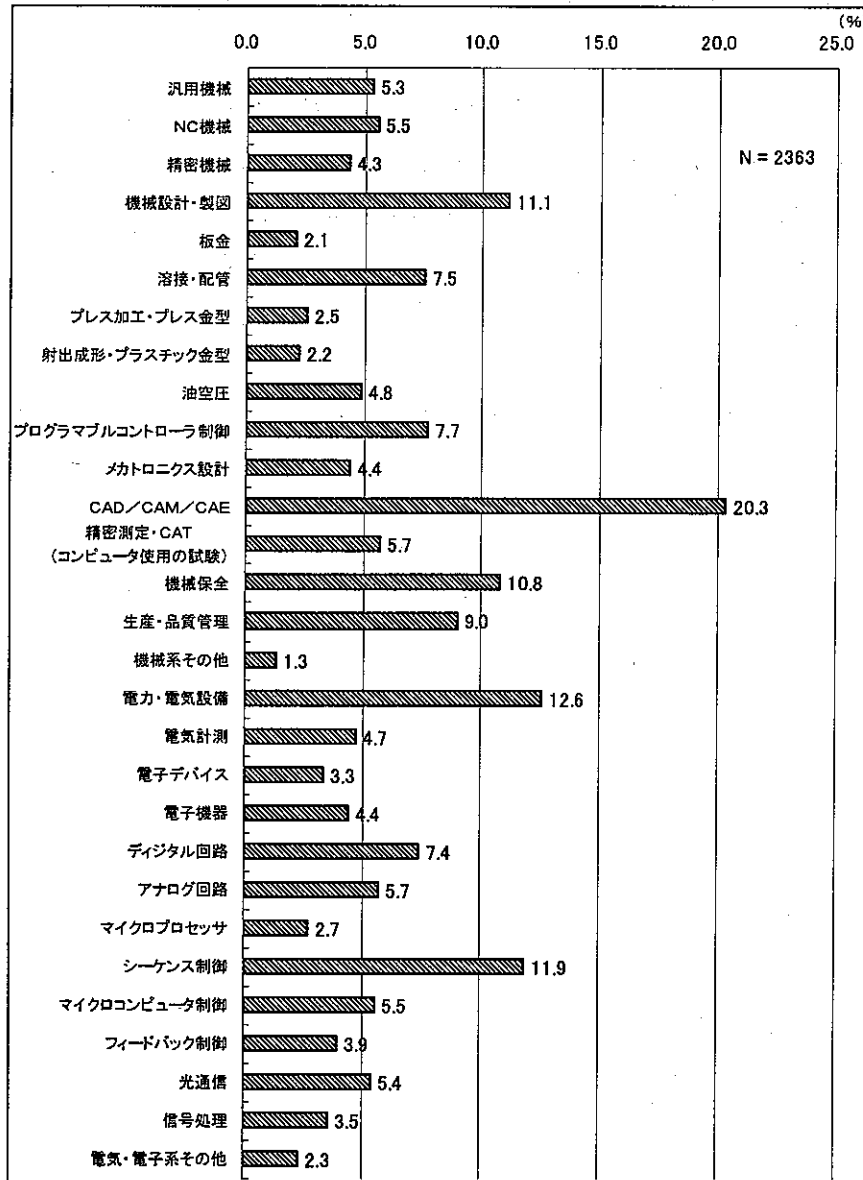


図2-35 今後習得しようと考えている技術・技能 (続く)

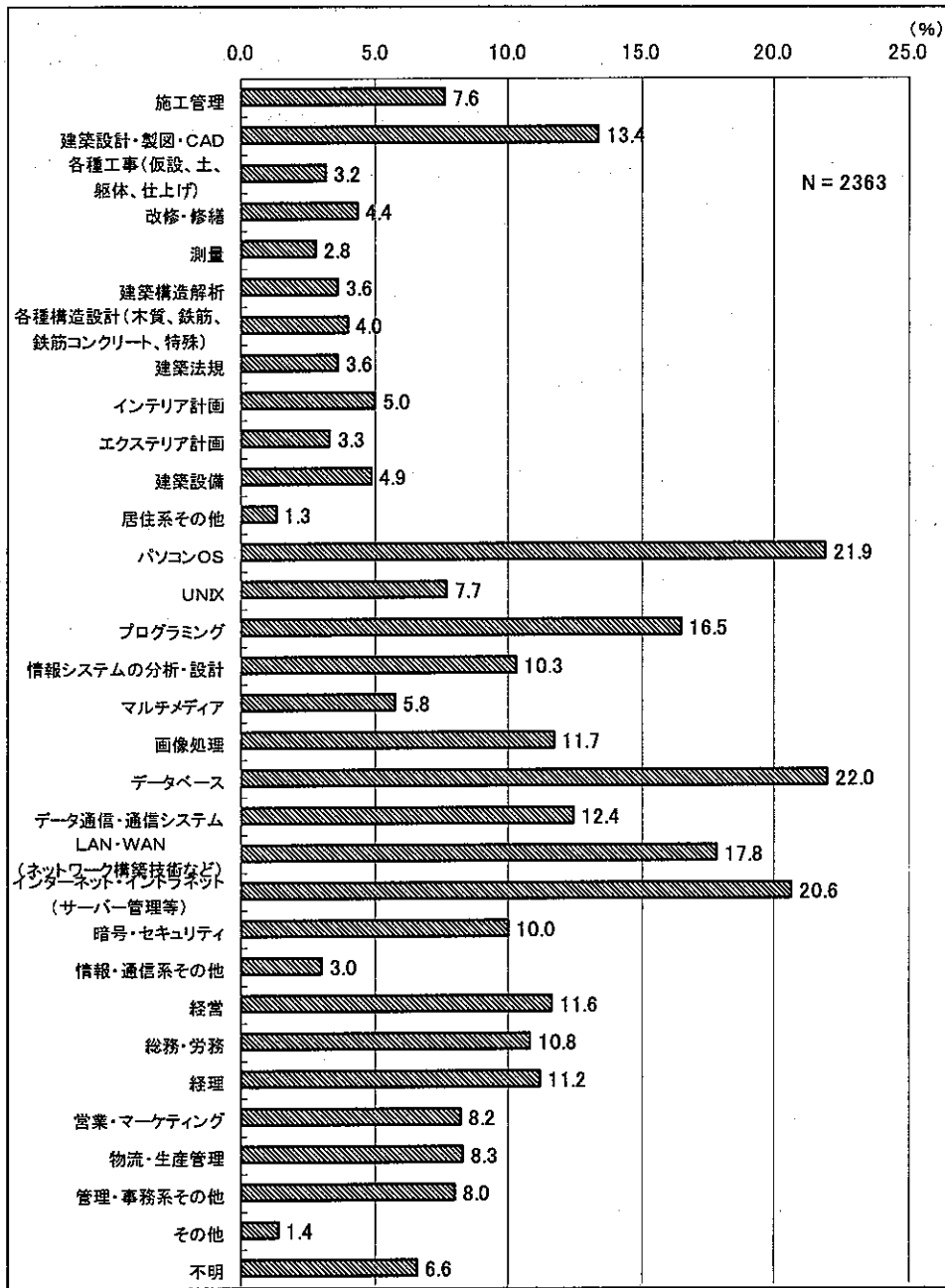


図2-35 今後習得しようと考えている技術・技能 (続き)

分野別にみると、次のものが上位にあがっている。

- ・機械・制御分野：「CAD/CAM/CAE」「機械設計・製図」「機械保全」
- ・電気・電子分野：「電力・電気設備」「シーケンス制御」「CAD/CAM/CAE」
- ・建築・居住分野：「建築設計・製図・CAD」「CAD/CAM/CAE」「パソコンOS」
- ・情報・通信分野：「データベース」「インターネット・イントラネット」「パソコンOS」
- ・管理・事務分野：「経営」「総務・労務」「経理」

年齢との関係を見ると、「機械・制御系」「電気・電子系」の多くの技術・技能で、年齢があがるとともに各技術・技能を習得しようとする回答者の割合は少なくなる。一方「建築・居住系」及び「管理・事務系」のいくつかの技術・技能（「施工管理」「建築設計・製図・CAD」「総務・労務」「経理」）は年齢があがるとともに習得しようとする回答者の割合が多くなる傾向にある。

職系別にみると、次のものが上位にあがっている。

- ・技能系 : 「機械保全」
- ・技術系 : 「CAD/CAM/CAE」「イントラネット・インターネット」
「データベース」
- ・事務系 : 「データベース」「パソコンOS」「経理」
- ・管理系 : 「総務・労務」「物流・生産管理」「営業・マーケティング」
「パソコンOS」

2-11 今後の能力開発セミナーの利用意向

問14-1. 今後も雇用・能力開発機構が主催する「能力開発セミナー」を利用したいと思いますか。(単数回答)

全体の68.8%の人が「コース、日程、費用などの条件が合えば利用を考えたい」と回答している。また、25.5%の人が「積極的に利用したい」と回答している。

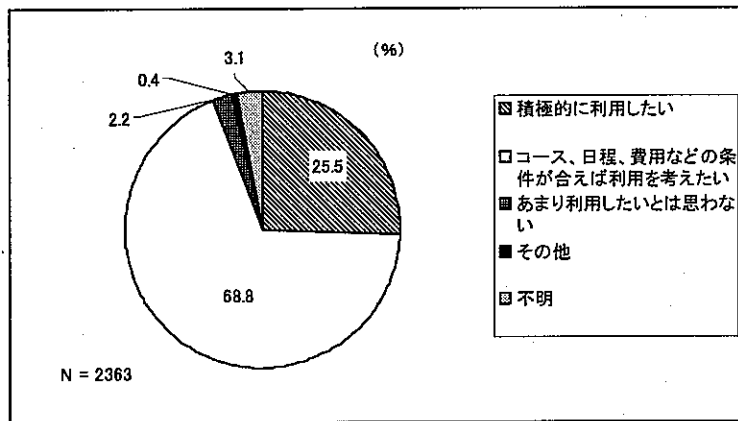


図2-36 今後セミナーを利用するかどうか (全体)

分野別にみると、情報・通信分野で「積極的に利用したい」と回答する者の割合が高くなっている (28.4%)。また、管理・事務分野で「あまり利用したいとは思わない」と回答する者の割合が、他の分野と比較して高くなっている。

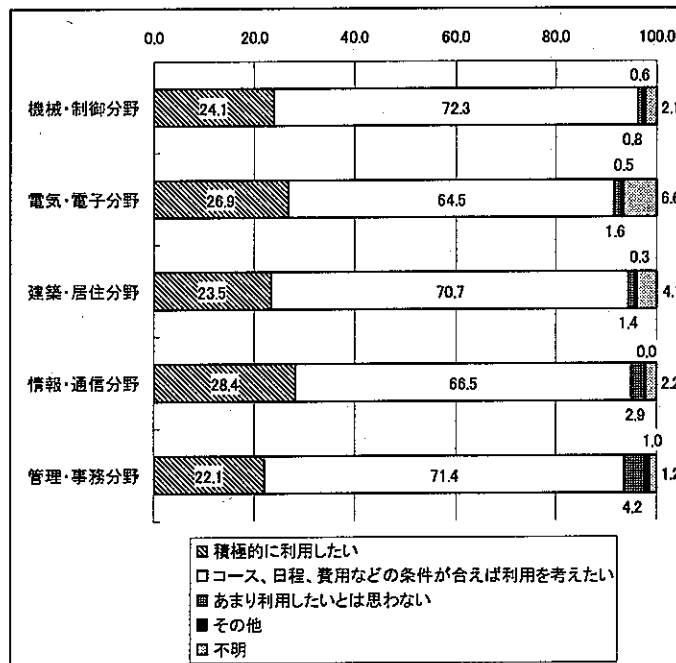


図2-37 今後セミナーを利用するかどうか (分野別)

問14-2. 問14-1で「3. あまり利用したいと思わない」とお答えになった方にお聞きします。その理由をお教えてください。

寄せられた自由回答を分類すると、次のようになった。

表2-3 利用したくない理由

Q14-2分類	件数
講師	10
受けたいものがない	7
遠い	7
時間がない	4
仕事にいかせない	4
レベルが低い	4
必要ない	3
ペースが速い	3
得るものがなかった	2
仕事を通して学びたい	2
費用が高い	2
1日の時間が長い。	1
お金がない	1
期待できないから	1
時間が合わない	1
内容が古い	1
人数が多い	1
初めて受けたコースにがっかりきたので	1
レベルが合わない	1
レベルが高い	1
レベルがばらばら	1
その他	2

問15. 今後能力開発セミナーを利用する場合、他の団体（自治体・商工会議所・業界団体・研修会社・メーカー等）が開催するセミナーや講習会などと比べて、「能力開発セミナー」にはどんなことを期待されますか。（複数回答）

他のセミナーと比較して能力開発セミナーに期待する項目としては、「受講料が安い」ことをあげる人が全体の62.5%と最も多い。次いで、「技能が着実に身に付く」ことが54.9%、「演習・実習がある」ことが46.8%、「ある技術の基礎・基盤部分に関する内容が学べること」が44.6%あがっている。

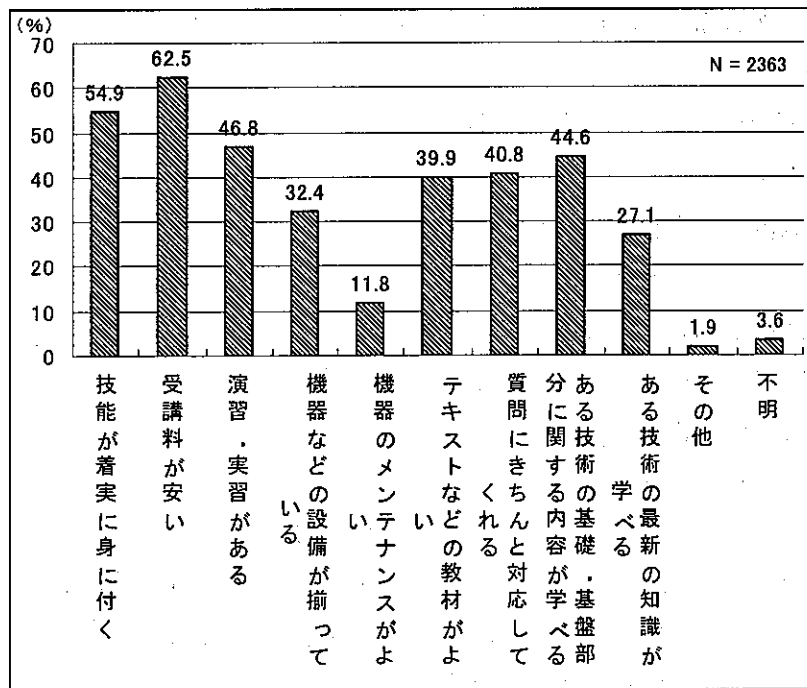


図2-38 能力開発セミナーに期待する項目

分野別にみると、建築・居住分野、情報・通信分野、管理・事務分野では「受講料が安い」が2番目以降を引き離して最も高くなっている（71.3%、68.7%、63.4%）が、機械・制御分野と電気・電子分野では「技能が確実に身に付く」の方が最も高く（61.1%、60.4%）、次いで「演習・実習がある」となっており（55.9%、60.2%）、「受講料が安い」は3番目となっている（54.1%、54.5%）。

年齢別にみると、「受講料が安い」「機器などの設備が揃っている」「質問にきちんと対応してくれる」で、年齢が上がるにつれて期待する人数の割合が大きくなっている（例：「受講料が安い」20歳代：52.1%、50歳代：76.8%）。一方、「技能が着実に身に付く」は年齢が上がるにつれて期待する人数の割合が小さくなっている（50歳代：48.0%、20歳代：59.4%）。職系別にみると、技能系で「技能が身に付く」（66.4%）、事務系で「受講料が安い」（74.4%）の割合が他の職系に比べて高くなっている。

問16. 今後どのような内容・テーマを能力開発セミナーで取り上げて欲しいですか。
できるだけ具体的にご記入下さい。

回答としては、次のようなものがあった。

[機械・制御分野]

- ・ 機械設計における構成部品の選定のしかた
- ・ 3DCAD/CAM/CAEにおいて、プロダクトモデルからの設計・製造手法
- ・ CATIA講座
- ・ CAEの能力開発セミナーの開催の復活
- ・ 三次元測定方法
- ・ シーケンス制御への実務への応用
- ・ 計測器の校正、トレーサビリティ
- ・ 測定技術に関わる内容
- ・ 技能検定1級（機械加工）の課題を取り上げて欲しい
- ・ 最新の機械要素や技術
- ・ 機械加工にて、難しい加工技術。
 - ①難材の加工、インタネル、チタン、SVS440C、SVS630 etc.
 - ②難加工 上記材料で、穴あけ公差と、外形挽き下し公差の最小限 etc.
- ・ 今ではローテク分野となっている事柄についても能力開発セミナーを開催してもらいたい。JISに指定されている金属材料等選択のノウハウ、鋳物に関する知識等
- ・ 時代に合った新しい技能・技術をもっと充実させて欲しい
- ・ コストダウン手法と事例

[電気・電子分野]

- ・ 資格取得に関する講習会を増やして欲しい（電気工事士等）
- ・ 資格（電験）取得を目的とした講習
- ・ アナログ回路設計
- ・ 1、2級電気工事施工管理技士
- ・ 電気主任技術者講習
- ・ デジタル回路設計
- ・ メカ・電気・ソフト・通信・化学など特定分野の専門事項に関する能力開発セミナーだけでなく、それらの分野をつなぐ役目を果たす周辺の技能・知識についても能力開発セミナーで取り上げてほしい。

[建築・居住分野]

- ・資格取得に直結しているような講座
- ・1級建築士向けのバックアップセミナーの再開
- ・建築基準法の新しい告示をテーマに
- ・建築関連法規の改正に伴う具体的内容についての講習
- ・建築構造の実務的講義
- ・プロジェクトマネジメント手法
- ・施工管理、工程管理の仕方等
- ・Auto CADの基礎～応用まで、レベルに分けて授業を作ってほしい
- ・画像処理（フォトショップ、イラストレータ）
- ・デジタルカメラ
- ・パソコンの基礎等

[情報・通信分野]

- ・Unix系OSのプログラミング（sh、awk、perl、sed等）
- ・オープンソース・OS・ソフトウェアの開発の能力開発セミナー
- ・プログラミング言語間の変換（比較・相違）
- ・データベース設計
- ・動画編集（Adobe Premiere）や3D-CG（3D Studio Max）
- ・サーバ管理（Unix系OSのNIS、sendmail、named等）
- ・Java関連技術
- ・.NET（ドットネット）を利用した開発
- ・インターネット・イントラネットシステムのパフォーマンスチューニング。運用上おこりうるさまざまな問題についてのノウハウ
- ・情報セキュリティーに関する能力開発セミナー
- ・ITコーディネータ的な分野の能力開発セミナー
- ・事務作業等のシステム化
- ・市販の技術書を読めば書いてあるようなテーマではなく、より実践的な知識を習得できると良い。例えば、プログラミング言語なら効率よいエラー処理の記述や、通信系なら伝送路上で何が起こったらどのようなエラーが発生するかなど。

[管理・事務分野]

- ・言葉遣い、接客等の能力開発セミナー
- ・プレゼンテーションの上手なやり方
- ・パソコンの基礎～応用まで（周辺機器など）

- ・汎用性あるリーダーとしての能力開発コース
- ・コーチングについて
- ・営業に関する能力開発セミナーの充実
- ・クレーム対応術
- ・安全衛生に関するもの
- ・経営企画
- ・総務に関する体系的な能力開発セミナー
- ・キャッシュフロー・原価計算・その他税務知識・キャッシュフローなどの決算書の詳しい見方
- ・給料計算、実務
- ・社会保険、年金のしくみについて
- ・商法・PL法・会社法・法務関係の充実
- ・債権・債務の管理
- ・コストダウンの方法
- ・工程管理に関する手法
- ・HACCP・ISOについての、より細かな実践的な内容での講義
- ・デザイン戦略
- ・医療・看護・介護・福祉分野
- ・現在、能力開発セミナーガイドは若い人向きの講座名のようなようです。以前はもっと講座名を見れば内容が理解できたが、横文字すぎて年配の方々が能力開発セミナー参加できないように思われます。1つの能力開発セミナーを何回か受講できて、復習しながら身に付けていける事を望みます。
- ・せっかく集合形式で能力開発セミナーを受講するのであれば、演習→解説に重点を置いて欲しい。テキスト+講義であれば値打ちがない。

問17. 最後に、能力開発セミナーについてのご意見をぜひお聞かせください。

寄せられた自由回答のべ874件を分類すると、次ページに示す表のようになった。

「内容」別にみると、最も多かったのが「講師の充実・授業の進め方の改善」で54件、次いで「夜間・土曜・休日コースの設置」49件、「コース内容のPR。PR方法の改善。講師履歴紹介」47件、「日程、開催頻度、定員の改善」36件、「立地悪い、出張・出前の能力開発セミナーを希望」33件の順となった。

「分類」別にまとめてみると、最も多かったのが「内容」に関するもので172件、次いで「開催方法」に関するもの134件、「講師・設備」に関するもの108件、「PR・集客方法」に関するもの71件の順となった。

また「受講者所属事業所」調査や「一般事業所」調査と比較して特徴的なのは、「授業のペースが速すぎる・つめこみすぎ」という声はかなりある（20件）ことである。「期間の延長」（16件）や「1日の講義時間の延長」（5件）も、これが原因となっていると考えられる。事業所側としては業務が忙しいことなどから能力開発セミナー期間の短縮を望んでいるものの、実際に受講する立場になってみると、あまり期間や時間が短いと授業のペースが速くなってしまってわからない箇所の質問もできず未消化に終わり、結局能力開発セミナーに来た意味がなくなってしまう、ということに危惧していると言えよう。また、空調や食堂など「アメニティの改善」を求める声も受講者調査では聞かれた。

表2-4 能力開発セミナーについての意見)

分類	小計	内容	件数
PR・集客方法	71	存在をPRする	3
		コース内容のPR。PR方法の改善。講師履歴紹介	47
		受講に際して前提として必要なレベルの明確化	15
		受講により達成されるレベルの明確化	1
		やる気のある受講生の確保	2
		コースの体系化とモデル受講プランの提示	1
		集客努力	2
開催方法	134	廃止になったポリテク／能力開発セミナーの再開	7
		開催方法工夫	8
		日程、開催頻度、定員の改善	36
		夜間・土曜・休日コースの設置	49
		期間が長すぎる	2
		期間の延長	16
		1日の講義時間の延長	5
		開講条件(最低数に満たない場合でも実施)	10
		身に付けた能力の評価と認定	1
		立地	33
事務手続き	5	申し込み方法の改善	3
		助成制度等の充実	2
内容	172	ニーズ把握・合ったコースがない	10
		様々なレベルの実施	17
		内容多様に	24
		内容絞り込み	4
		内容高度に	20
		資格が取れる内容に	6
		実践的な内容	23
		基礎的内容の充実	15
		資格に関連した内容に	1
		その他内容	27
		教材の改善	8
		実習を多く	9
質問・相談時間の充実	8		
受講料	8	受講料安く	8
講師・設備	108	講師の充実・授業の進め方の改善	54
		授業のペースが速すぎる・つめこみすぎ	20
		対応の改善	7
		設備の充実	14
		設備の開放	1
		アメニティーの改善	12
交流・相談・他の機関との連携	4	交流の場の設置	1
		相談コーナーの設置	2
		他の機関との連携	1
否定的感想	1	民間委譲すべき	1
好意的感想	246	よかった／今後も活用したい	84
		基本を理解できた	3
		少人数なのがよい	5
		実習がある	9
		内容が体系的なのがよい	2
		内容が充実している	9
		内容が専門的でよい	2
		わかりやすい	10
		立地良い	3
		受講料安くてよい	37
		教材がよい	3
		設備よい	12
		親切・講師がよい	67
その他	92	その他	92